

誰もが役割を發揮、参加できる地域社会へ

つなぐ

社会福祉法人 寒川町社会福祉協議会
法人設立30周年記念誌

目 次

挨 拶	寒川町社会福祉協議会会长	高橋 伸隆	1
祝 辞	寒川町長	木村 俊雄	2
	寒川町議會議長	杉崎 隆之	3
	神奈川県議會議員	飯田 誠	4
	社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会会长	篠原 正治	5
歴代会長			6
寒川町社会福祉協議会の歩み			7
寒川町社会福祉協議会法人化への取組み			8
法人設立 20周年まで			9
法人設立 20周年以降 10年間の歩み			14
社協の活動紹介	広報・宣伝・福祉教育		24
	在宅福祉サービス活動及び関連活動		27
	ボランティア活動及び地域づくり交流事業		29
	東日本大震災復興支援事業		32
寄 稿	寒川町自治会長連絡協議会会长	右城 栄一	35
	寒川町民生委員児童委員協議会会长	青木 澄雄	35
	寒川町ボランティア連絡協議会会长	飛弾 恭子	36
	寒川町福祉団体協議会会长	伊藤 久美子	36
法人設立 30周年記念事業	座談会「これからの10年の福祉を考える」		37
卷末資料	会員・会費額の推移		45
	財政の推移		46
	基金保有額の推移		47
	各種相談・サービスの推移		48
	小地域福祉活動事業の状況		49
	地域包括支援センター		50
	寒川町社会福祉協議会の組織		51
	歴代役員の紹介		52
法人設立 30周年記念受賞者			62
編集後記			63

新たな10年のスタート年に！



寒川町社会福祉協議会 会長 高橋 伸隆

寒川町社会福祉協議会が社会福祉法人として認可されて、30周年を迎えることができました。これもひとへに会員各位、町当局、関係機関、関係団体、ボランティアの方々のご支援ご尽力の賜と心より御礼申し上げます。

法人が設立した昭和59年当時町人口は概ね40,000人で世帯は12,000世帯でした。現在は人口で約7,000人、世帯数も約6,700千世帯が増加しています。発足時より大幅な人口増加と合わせて高齢社会の到来で65歳以上の方が23%を越えています。介護される人もする人も65歳以上の『老々介護』が51.2%となりました。

このように日本は高齢社会に対応するため、時代にマッチした福祉政策が求められています。寒川町と社協も、平成28年度からの5ヶ年計画である「寒川町地域福祉計画」並びに「寒川町地域福祉活動計画」の連携を一層強め、町民の皆様に分かりやすい計画の策定を目指す所存です。また記念誌発刊に当たり『10年後の寒川町を考える』と題し社協のあり方や求められる役割を若い方々に議論して頂き、その内容を記載してございますので是非御一読をお願いします。

今日世の中は情報化社会を迎えています。モバイル端末で世界中の方と顔を見ながら会話ができ、地球上の情報が即座に検索できる時代です。スマホやタブレット端末で安否確認や独居老人の見守りなど、福祉介護支援事業にICT（情報通信技術）を活用し、きめ細かく手厚く支援することができるようになりました。

私たちは町民の新たなニーズに応えるために発想の転換を図り、ICTを積極的に福祉事業にも取り入れて、より大きな成果を出していかなければなりません。

法人設立30周年を迎えるに当たり、この30年間の先輩諸氏のご労苦に感謝申上げると共に、本年をこれから10年のスタートの年と位置付けて役員職員一同が一丸となって町民の皆様のご期待に応えられるよう精進してまいります。皆様方の倍旧のご理解とご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

法人設立30周年を祝して



寒川町長 木村 俊雄

寒川町社会福祉協議会が法人設立30周年を迎えたことを、心からお祝い申し上げます。

昭和59年7月の法人設立以来、寒川町の地域福祉の向上のためにご尽力いただきました歴代会長をはじめ、役員、会員、ボランティア等多くの皆様のご努力に改めて敬意と感謝を申し上げます。

社会福祉を取り巻く現状は大きく変化し、少子化の進行や超高齢社会を迎えており、相互に理解し、助け合い、協力し合う関係づくり、地域力の充実に向けた取組みは、これまで以上に大切であると考えます。

これまで、町は地域福祉計画を、町社会福祉協議会は地域福祉活動計画をそれぞれ策定し、様々な取組みを進めているところですが、平成28年度からスタートする寒川町地域福祉(活動)計画では、町計画との一体化を図ってまいります。これは、町と社会福祉協議会が地域福祉を推進するための車の両輪として、これまで以上に連携して取組んでいく第一歩となるものです。

民間組織としての自立性と、広く地域の皆さんや社会福祉関係者に支えられた公共性という二つの側面を持つ社会福祉協議会の活動が、これからも地域にしっかりと根を張り、ますます地域福祉の輪が拡がるよう、地域社会における福祉の推進役を果たすことを期待しております。

終わりに、寒川町社会福祉協議会のますますのご発展と皆様のご活躍を祈念して、お祝いの言葉といたします。

祝 法人設立30周年 一層の飛躍を



寒川町議会議長 杉崎 隆之

この度、寒川町社会福祉協議会が法人設立30周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

一口に30年と申しましてもその道程は長く、さぞ険しいものであったことと存じ、この間における関係各位のご努力に、深甚なる敬意を表す次第であります。

わが国は、21世紀に入り、未曾有の少子・超高齢社会に拍車がかかっており、すでに、国民の4人に1人が65歳以上の高齢者という時代を迎えています。

こうした時代にあって、貴協議会が、住民福祉のパイオニアとして果たしてきた役割は大きく、誠に意義深いものであり、今後とも、ますますご活躍されることを念願するものであります。

申すまでもなく、今日の福祉に求められておりますのは、お仕着せや与えられるものではなく、ヒューマニティー溢れるものでなくてはならないと存じます。

そして、社会福祉の充実においては、独り行政のみの力で所期の目的を達成できるものではなく、その推進にあたっては、住民の皆様の協力が必要不可欠となっております。

ことに、都市化が進み、変転目まぐるしい現代社会において、福祉施策の浸透とその定着を図り、きめ細かに対応するためには、地域の方々やボランティアの皆さん支援と協力がぜひとも必要であります。

それと同時に、住民の皆さん同士による信頼とふれあいによる相互扶助、相互協力の輪が広がれば、これほど心強いことはありません。

法人設立30周年という大きな節目を迎えた貴協議会が、これを機会に、さらに一層飛躍され、名実ともに住民福祉の拠点として、その真価を遺憾なく発揮されますよう、心からご期待申し上げる次第でございます。

終わりに、今まで、貴協議会の運営にご尽力・ご協力を賜りました関係各位に心から感謝申し上げ、併せて貴協議会の一層のご発展を祈念しまして、祝辞と致します。

寒川町社会福祉協議会法人設立30周年に寄せて



神奈川県議会議員 飯田 誠

寒川町社会福祉協議会創立30周年、まことにおめでとうございます。

県民の4人に一人が65歳以上という急速な高齢化の進行、核家族化による家族意識の変化、近所関係の希薄化などに伴い、相互扶助機能が著しく低下する中、介護や子育て、虐待や孤立死の問題など、公的なサービスだけでは解決できない課題が山積しております。

誰もが住み慣れた地域で健康で安心して暮らしていくには、公的な福祉サービスや医療を充実していくことはもとより、住民主体の「見守り活動」など、公と民間が「協働」した取組が不可欠です。

東日本大震災の教訓から、障害者や高齢者を含めた要援護者の情報の共有や、日常的な支え合いがますます重要となっており、ボランティアの方々や民生委員・児童委員の皆様、社会福祉協議会や行政機関の職員など、福祉に関わる多くの皆様がそれぞれの枠組みを超えて地域の方々と手を携えて協力し合うことが、今後ますます重要となってまいります。

こうした中、地域福祉の中心的な担い手である貴協議会は町民の皆様の参加と協力の下、第3次地域福祉活動計画「地域のつながりプラン」に基づき、地域で主体的に取り組まれるサロン活動の支援、次世代福祉の芽を育む福祉教育の推進など、地域福祉の向上に積極的に取り組まれてこられました。

また、財産保全・管理あんしんサービスや総合支援資金の貸付、関係機関との連携によるセーフティネットの機能を活かした事業、地域包括支援センターによる高齢者総合相談窓口の設置、災害時におけるボランティア活動の検討と組織化など、「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまち」に向けて、町民、事業者、行政が一体となって地域の福祉課題の解決にも積極的に取り組まれております。

神奈川県でも地域福祉の推進に向けて皆様が策定した「地域保健福祉計画」を支援するための「地域福祉支援計画」を策定するほか、民間事業者との協定に基づく「地域見守り活動」などに取り組んでおります。

また、障害者の方々の心配事や困り事、親亡き後の不安など、様々な相談に応じるため横浜駅西口のかながわ県民センターに、「かながわ権利擁護相談センター」並びに成年後見制度の普及促進を図る「成年後見推進センター」を設置しておりますので、是非ご利用いただきたいと思います。

最後になりますが、皆様におかれましては日頃から豊富な知識と経験、そして何より「助け合いと思いやりの心」を持って福祉向上のためご活躍され、町民の方々を直接支えていただいております。

皆様のお一人お一人の力が神奈川の福祉を進める大きな原動力であります。

今後とも引き続きご尽力を賜りますようお願い申し上げますとともに益々ご健勝とご活躍を祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。

寒川町社会福祉協議会 法人設立30周年を祝して



社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 会長 篠原 正治

寒川町社会福祉協議会の法人設立30周年、おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。

寒川町社会福祉協議会が法人化された昭和59年、神奈川県全体の高齢者人口は51万人、高齢化率7%という数字が残されています。当時の社会福祉の流れは、これから到来することが予想されていた高齢社会に向けて、在宅福祉サービスの整備とともに、ボランティアなどの住民参加による支え合い活動の大切さが叫ばれ始めた頃でした。

社会福祉協議会の法人化は、法的には、昭和58年に社会福祉事業法に位置づけられたことによりますが、本会としても、県内の市社協の法人化を踏まえ、町村部社協の法人化をすすめようと「町村社協法人化5か年計画」を策定し、職員派遣による個別支援をスタートさせました。寒川町社会福祉協議会の法人化は、そうした本会の市町村基盤の地域福祉を進める市町村社協への支援と協働の歴史とも重なるものであります。

寒川町社会福祉協議会で行われてきた事業を、本会に残された資料などからあらためて拝見させていただきますと、昭和63年頃には、「心身障害児者生活実態調査」、「ミニハンディキャブの運行」、「生活困窮者世帯への一時援護のたすけあい資金貸付」、「心配ごと相談」などが行われておりました。平成7年には国庫補助事業である「ふれあいのまちづくり事業」の指定を受け、総合相談事業を展開し、障害児者を対象としたサロンなどを新たに開催し、地域のボランティアの皆さんのが活動の場ともなっていました。平成12年には在宅介護支援センターの受託運営を行うなど、ボランティアなど地域住民、福祉関係者や行政と一体となって、常に地域に必要な事業に取り組んで来られたことがうかがえます。

団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年を控え、介護保険制度の見直しを進め、地域の中での、地域住民や高齢者自身の参加による支え合いの仕組み、包括的なケアシステムをつくりあげていくことが求められています。また、障害者総合支援法、生活困窮者自立支援法など新たな法制度が施行されていく中で、専門職による支援とともに身近な地域での支え合いがあらためて脚光を浴びてきています。

寒川町社会福祉協議会におかれましては、これまでの実績をもとに、こうした社会の要請に着実に応え続けていっていただけるよう、更なる発展をご祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

歴代会長



初代 小島 光男

昭和59年8月～平成4年8月



第二代 三沢 裕一

平成4年8月～平成8年8月



第三代 露木 一吉

平成8年8月～平成9年6月



第四代 若林 孝治

平成9年6月～平成16年8月



第五代 栗田 俊一

平成16年8月～平成18年8月



第六代 木村 勇

平成18年8月～平成22年8月



第七代 藤井 孝

平成22年8月～平成26年8月

寒川町社会福祉協議会の歩み

昭和26年	社会福祉事業法公布
昭和28年	寒川町社会福祉協議会が任意団体として設立、事務局は町役場内
昭和36年	社会福祉協議会基本要項の制定
昭和54年	郡社会福祉協議会の発展的解散
昭和57年	社会福祉協議会法制化運動の実施
昭和58年	社会福祉事業法に市町村社協の位置づけ 町社協法人設立準備委員会設置と住民地区説明会の開催(45地区)
昭和59年	会員募集開始 社会福祉法人として認可、再スタート
昭和61年	社協発展計画策定(5ヶ年計画)
昭和62年	福祉事業センターの受託管理に伴い事務局を町役場から同センターへ移転
平成2年	健康管理センターの増築に伴い事務局を同センターへ移転
平成3年	一般会費を年額1口300円を500円とする
平成4年	新社会福祉協議会基本要項の制定 ホームヘルプ事業、訪問看護事業受託に伴い、いきいきふれ愛サービス事業スタート
平成5年	第2次社協発展計画策定(5ヶ年計画)
平成6年	法人設立10周年記念事業の推進(記念式典、座談会、記念冊子等)
平成7年	ふれあいのまちづくり事業の推進(国、県、町補助事業=5ヶ年) ふれあい・いきいきサロン事業の実施
平成10年	ボランティアセンターの設置
平成11年	第1次地域福祉活動計画を2年間かけて策定(5ヶ年計画) 小地域福祉活動の推進
平成12年	介護保険法、社会福祉法の施行 いきいきふれ愛サービス(訪問介護事業、居宅介護支援事業)実施 基幹型在宅介護支援センターの受託 地域福祉権利擁護事業(現日常生活自立支援事業)の実施 ボランティアセンター拠点の設置(教職員住宅1階)
平成13年	ホームページの開設
平成14年	社会福祉法人新会計基準への移行
平成15年	支援費制度による居宅介護事業の実施
平成16年	法人設立20周年記念事業の推進(記念式典、記念表彰、記念誌等)
平成17年	第2次地域福祉活動計画策定(5ヶ年計画)

寒川町社会福祉協議会の歩み

- 平成18年 地域包括支援センター事業の受託と介護予防支援事業の実施
基幹型在宅介護支援センターの受託廃止
指定介護予防訪問介護事業の実施
障害者自立支援法による居宅介護事業の実施
いきいきふれ愛サービス（指定居宅介護支援事業）の廃止
- 平成19年 寒川町健康管理センター指定管理（5ヶ年）
いきいきふれ愛サービス（訪問介護事業、居宅介護事業等）の廃止
- 平成20年 サポート「さむかわ」（ボランティアによる生活支援）の実施
ボランティアセンター拠点の移転（健康管理センター3階）
- 平成22年 第3次地域福祉活動計画策定（5ヶ年計画）
- 平成23年 被災地ボランティアバスの運行（南三陸町）
ホームページのリニューアル
- 平成24年 寒川町健康管理センター指定管理（5ヶ年）
災害時における相互協力に関する協定、運営マニュアルの策定（町）
- 平成25年 法人設立30周年記念事業推進委員会立ち上げ
法人後見事業立ち上げ準備検討委員会開催

寒川町社会福祉協議会法人化への取組み

寒川町社会福祉協議会は、昭和28年5月に厚生省から出された社協整備の通達により8月に発足しました。

その後、高齢化による新たなニーズ対応するため、全国的に「市町村社協の法制化」について請願及び署名運動が展開されました。寒川町社協では昭和57年9月法制化に関する請願として、3,725名の署名を集め、町議会において採択され、国に意見書を提出しました。昭和58年5月には社会福祉事業法に市町村社協が位置づけられたことから、法人化への取組が開始されました。同年10月理事会を開催し、法人設立準備委員会への権限委任、任意社協の解散、財産の寄附等について検討、また11月に評議員会を開催し、法人化推進を決定、法人設立準備委員会の設立に伴う定款の作成、設立当初の役員選出、設立認可申請手続等一切の権限を委任することを決定しました。この間法人設立準備委員会の開催を重ね、昭和59年1月に法人化地区説明会を開催、2月 法人設立趣意書等を検討、3月 59年度事業計画及び予算を検討、4月 設立当初の会長・副会長の選任、同月法人設立認可申請を厚生大臣へ提出、6月4日付け厚生省社第419号で法人設立の認可を受け現在に至っています。

法人設立から20周年まで

昭和59年度

- 7月 法人登記申請を横浜地方法務局茅ヶ崎出帳所へ提出、住所は寒川町宮山165（寒川町役場内）基本財産30万円、一般会員募集、自治会に依頼、年額1口300円（6,787世帯が加入）、任意社協総会を開催し解散する。
なお、現金26,200,000円、什器備品1,065,000円を法人社協に寄附。
財産移転終了報告書を厚生大臣に提出。
- 8月 ボランティア連絡協議会誕生。12グループにより組織される。
第2回理事会開催。初代会長に小島光男氏選任。
- 9月 法人設立記念式典開催。
- 10月 福祉作文募集、町内小中学校及び高校生より16名が応募。
社協さむかわ第1号発行。
- 11月 第1回福祉大会開催。
母子父子世帯生活実態調査を実施。
第1回福祉バザー開催。
- 3月 ボランティア研修会開催。
社協パンフレット「社協のしおり」作成。

昭和60年度

- 5月 役員視察研修会開催。
- 7月 社協さむかわ第3号発行。
町営プールに売店を設置。
- 10月 第2回福祉大会開催。
- 11月 第2回福祉バザー開催。
3月 資金貸付制度パンフレット作成。

昭和61年度

- 6月 福祉作文を募集。69名が応募。
- 7月 社協さむかわ第7号発行。
町営プールに自動販売機を設置。
- 8月 第15回理事会開催。会長小島光男氏再任。
- 10月 第3回福祉大会開催。
社協発展計画策定委員会開催（昭和63年度から平成4年度までの取り組むべき事業について検討）。
第3回福祉バザー開催。
- 12月 第19回理事会開催。
- 2月 社協さむかわ増刊号発刊。
- 3月 ボランティア研修会開催。
社協パンフレット「みんなで育てる福祉の輪」作成。
福祉事業センター開所式開催。

昭和62年度

- 4月 福祉事業センター（岡田610）に事務所を移転。同センターの管理を町から受託。
日常生活用具貸与事業を開始。
- 7月 社協さむかわ第11号発行。

法人設立から20周年まで

- 10月 第4回福祉大会開催。
第1回ふれあい広場開催。
- 11月 第4回福祉バザー開催。
- 3月 発展計画策定委員会報告書答申。

昭和63年度

- 5月 社協さむかわ第15号発行。
- 7月 福祉作文を募集。349編の応募。
地区福祉懇談会を北部、中部、南部の3地区で開催。
- 8月 第32回理事会開催。
要介護老人世帯実態調査を実施。
- 9月 募金箱「小さな善意」を町施設や店舗に設置。
- 10月 第5回福祉大会開催。
- 3月 会員募集に併せて「社協活動の手引き」を全戸配布。

平成元年度

- 5月 社協さむかわ第19号発行。
- 6月 保健福祉サービス推進会議開催（町との保健福祉事業の連携強化を図る）。
地区福祉懇談会を中部、南部、北部の3地区で開催。
- 10月 第6回福祉大会開催。
第2回ふれあい広場開催。
- 11月 第5回福祉バザー開催。

平成2年度

- 5月 社協さむかわ第23号発行。
- 6月 地区福祉懇談会開催。自治会別に5ヵ年計画で実施（倉見、小動、大曲、田端各自治会）。
発展計画検討委員会開催。
- 7月 ねたきり老人等理美容サービス開始。
- 8月 第52回理事会開催。
- 10月 事務所を健康管理センター3階に移転。
第1回ふれあい・ふくし・けんこうフェスティバル開催。
第7回福祉大会開催。
- 11月 第6回福祉バザー開催。

平成3年度

- 5月 社協さむかわ第27号発行。
- 6月 地区福祉懇談会開催（中瀬、宮山、小谷、筒井各自治会）。
- 8月 第59回理事会開催。福祉サービス協会事業としてホームヘルプサービス事業、訪問看護事業の受託検討。
- 10月 第2回ふれあい・ふくし・けんこうフェスティバル開催。
第8回福祉大会開催。
- 11月 全国社会福祉協議会会長表彰受賞。

法人設立から20周年まで

平成4年度

- 5月 社協さむかわ第31号発行。
第63回理事会開催。
- 6月 地区福祉懇談会開催（一之宮北第2、一之宮北第1、大蔵、菅谷台、一之宮西、一之宮東各自治会）。
- 8月 第66回理事会開催。会長に三沢祐一氏選任。
- 10月 いきいきふれ愛サービス事業開始。
第3回ふれあい・ふくし・けんこうフェスティバル開催。
第9回福祉大会開催。
- 11月 第2次発展計画策定委員会設置。（平成5年度から平成11年度までの事業計画等策定）
3月 福祉事業センター受託管理を廃止。

平成5年度

- 5月 社協さむかわ第35号発行。
- 6月 基本財産を1,000,000円に増額。
地区福祉懇談会開催（岡田もくせいハイツ、一之宮ソフィア、県住第2、宮山南部各自治会）。
- 7月 町営プールの売店拡張。
- 10月 福祉団体協議会発足（手をつなぐ親の会、身体障害者福祉会、肢体不自由児父母の会、聴覚障がい者協会、母子福祉会で組織）。
第4回ふれあい・ふくし・けんこうフェスティバル開催。
第10回福祉大会開催。
- 1月 駐車場運営開始。

平成6年度

- 5月 社協さむかわ第39号発行。
- 6月 地区福祉懇談会開催（岡田新町、越の山住宅、岡田東・西、新橋アパート各自治会）。
- 7月 10年を振り返っての座談会開催。
- 10月 法人10周年記念冊子の発行。
第11回福祉大会開催。
第5回ふれあい・ふくし・けんこうフェスティバル開催。

平成7年度

- 4月 社協さむかわ第43号発行。
- 7月 ふれあいのまちづくり事業の指定。
○ふれあい・いきいきサロン事業
○相談事業
○小地域福祉活動事業
○福祉施設地域福祉活動啓発事業の指定。
- 10月 ふれあい福祉相談（心配ごと相談）事業の開始。
第12回福祉大会開催。
第6回ふれあい・ふくし・けんこうフェスティバル開催。
- 2月 ふれあい・いきいきサロン開始（子育てサロン南・北公民館で）。
- 3月 「社協活動の手引き」作成。

法人設立から20周年まで

平成8年度

- 4月 社協さむかわ第47号発行。
ふれあい・いきいきサロン（子育て・高齢者・障がい児者）の実施。
- 7月 福祉懇談会開催（自治会長連絡協議会）。
- 10月 第13回福祉大会開催。
第7回ふれあい・ふくし・けんこうフェスティバル開催。
- 2月 第2次発展計画の策定。

平成9年度

- 4月 社協さむかわ第51号発行。
- 8月 福祉懇談会開催（PTA連絡協議会・婦人会）。
- 10月 第14回福祉大会開催。
第8回ふれあい・ふくし・けんこうフェスティバル開催。
筒井自治会健康福祉ネットワーク事業発会式。
- 3月 ボランティア活動パンフレット作成。

平成10年度

- 4月 社協さむかわ第55号発行。
ふれあい・いきいきサロン（子育て・高齢者・障がい児者）開催。
- 8月 個人登録ボランティア研修会開催。
- 10月 第15回福祉大会開催。
第9回ふれあい・ふくし・けんこうフェスティバル開催。
旭が丘中生徒施設交流会開催。
- 3月 小学生ふくし体験会開催。

平成11年度

- 4月 社協さむかわ第59号発行。
- 6月 小地域福祉活動推進地区指定（岡田新町自治会）。
- 8月 小地域福祉活動推進地区指定（小谷自治会）。
- 9月 視覚障がい者誘導法講座開催。
- 10月 第16回福祉大会開催。
第1回寒川町ふれあい・スポーツ・健康まつり開催。
- 11月 福祉バザー産業まつり出店。
- 1月 駐車場運営。
- 3月 ボランティア会員研修会開催。

平成12年度

- 4月 寒川町基幹型在宅介護支援センター受託。
介護保険法による訪問介護事業、居宅介護支援事業開始。
財産保全・管理あんしんサービス開始。
社協さむかわ第63号発行。
- 5月 小地域福祉活動モデル地区指定事業説明会を北部・中部・南部で開催。
地域福祉協力員委嘱式 筒井自治会。

法人設立から20周年まで

- 10月 ボランティアセンターを町教職員住宅に設置。
第17回福祉大会開催。
第2回ふれあい・スポーツ・健康まつり開催。
- 2月 小地域福祉活動推進地区指定（岡田東西連合自治会）。
- 3月 地域福祉活動計画策定。

平成13年度

- 4月 社協さむかわ第67号発行。
ふれあい・いきいきサロン（子育て・高齢者・障がい児者）開催。
ホームページ開設。
- 5月 小地域福祉活動モデル地区説明会を北部・中部・南部で開催。
- 6月 社協PRカードを作成し全戸配布。
寒川中学校福祉体験会協力。
- 8月 田端いきいきサロン発会式。
- 9月 小地域福祉活動推進地区指定（田端自治会）。
- 10月 第18回福祉大会開催。
第3回ふれあい・スポーツ・健康まつり開催。
- 12月 小地域福祉活動推進地区指定（県住第2自治会）。
- 2月 介護マップ作成（町受託事業）。

平成14年度

- 4月 社協さむかわ第71号発行。
サロンハートぼっぽ（心に病を抱えた方の憩いの場）開催。
- 7月 南小学校車いす体験会開催。
- 10月 ボランティア協力校の指定（小谷小、南小、寒川中）。
第19回福祉大会開催。
第4回ふれあい・スポーツ・健康まつり開催。
- 3月 財産保全・管理あんしんサービスパンフレットの作成。

平成15年度

- 4月 支援費制度による居宅介護事業開始。
社協さむかわ第75号発行。
ふれあい・いきいきサロン（子育て・高齢者・障がい児者）開催。
ボランティア協力校の指定（小谷小、南小、寒川中）。
- 5月 小地域福祉活動推進地区指定（中瀬自治会）。
- 9月 寒川東中学校福祉教育協力。
- 10月 第5回ふれあい・スポーツ・健康まつり開催。
福祉移動相談の開始。
第20回福祉大会開催。
福祉懇談会開催（宮山地区、筒井地区）。
- 3月 福祉サービスのしおり作成。

法人設立 20 周年以降 10 年間の歩み

平成 16 年度～平成 25 年度

平成 16 年度

法人設立 20 周年の節目として、20 周年記念事業推進委員会を立ち上げ、記念誌編集・記念講演等の検討を行う。

- 4月 5年目を迎えた介護保険事業の高齢者等専門相談窓口として、在宅介護と介護予防の推進機関である基幹型在宅介護支援センター機能の充実に努める。

小地域福祉活動は新たに筒井・一之宮連合自治会が加わり、5自治会から7自治会に拡大する。

地域福祉権利擁護事業（現日常生活自立支援事業、あんしんサービス）を推進し、判断能力の低下した高齢者や障がい者の自立支援に努める。

財産保全、サービス利用支援では地域福祉権利擁護事業を推進し、生活困窮者の自立支援に努める。

- 6月 20 周年記念事業の一環として、福祉車両ふれあい 1 号を購入。



第 21 回福祉大会



産業まつりで福祉バザー



介護者の交流会

★国・◆県・▲町・■社会の動き

- 4月 ★ 「個人情報保護法案」衆議院で可決成立。
◆ かながわ障がい者計画スタート。
- 6月 ★ 「障がい者基本法」改正。
★ 「改正児童虐待防止法」施行（早期発見へ通報義務拡大）。
★ 厚労省 「痴呆」に代わる呼称を「認知症」とする方向を示す。
- 10月 ■ 新潟県中越地震発生。
■ アテネ五輪、パラリンピック開幕。
- 12月 ★ 「発達障害者支援法」成立（自閉症や学習障害など支援体制の確立）。
3月 ◆ 地域福祉支援計画を策定。
■ 流行語に『チヨー気持ちいい』『自己責任』など。

法人設立 20 周年以降 10 年間の歩み

平成 17 年度

介護予防や自立支援など国の法改正等により福祉推進の方向が大きく変化し、社協においても地域福祉活動を進める中で、「住みなれた地域で安心して暮らせる思いやりのある福祉のまちさむかわ」を基本理念として第2次地域福祉活動計画（5カ年計画）を策定する。

- 4月 高齢者の生活支援や在宅介護など総合支援サービスとしてケアプラン作成やホームヘルプサービス事業などを提供しているいきいきふれ合いサービスの充実に努める。
- 5月 新たに大蔵自治会が小地域福祉活動を立ち上げ地域福祉の推進に努める。
- 8月 次年度に向けた取組として、福祉有償運送事業や地域包括支援事業の検討を行う。
- 10月 ふれあい・スポーツ・健康まつりを開催し多くの方々が参加される。

第 22 回福祉大会において、「心の元気カルテ」と題して浅井逸郎氏を招き講演会を開催する。



ふれあい・スポーツ・
健康まつり



ボランティア入門講座



口腔ケアに関する講座

★国・◆県・▲町・■社会の動き

- 4月 ★ 「個人情報保護法」施行。
5月 ◆ 市区町村社協経営指針策定。
6月 ★ 「身体障害者雇用促進法」改正。
「介護保険法」改正（平成 18 年 4 月施行）。
10月 ★ 「障害者自立支援法」成立。
11月 ★ 「高齢者虐待防止法」成立。
3月 ★ 「災害時要援護者の避難対策」案をまとめ高齢者、障害者らを避難支援に優先順位。
▲ 寒川町地域福祉計画策定。
■ 流行語に『小泉劇場』『萌え～』など。

法人設立 20 周年以降 10 年間の歩み

平成 18 年度

介護予防に重点を置いた介護保険法の改正、サービスの一元化をめざす障害者自立支援法の施行など大幅な制度改革が行われ、当社協においても各種サロン事業や、小地域福祉活動支援など、ボランティア、地域住民、関係機関等と連携・協力し地域福祉活動の充実を図る。

4月 地域包括支援センター運営事業（高齢者の相談窓口、介護保険利用の相談等）を町より受託し、事務所を町役場 1 階に設置し開始する。

社協事務局を、より町民に身近な存在として健康管理センター 1 階に移動し、拠点充実に努める。

小地域福祉活動では新たに菅谷台・小動自治会が地域包括支援に加わる。



4月より地域包括支援
センタースタート



岡田新町ミニサロン



第1回地域福祉フォーラム

10月 ふれあい・スポーツ健康まつりを開催する。

第23回福祉大会において、「今日から始めるボランティアはじめの一歩」と題してNHK手話ニュースキャスターの中野佐世子氏を招き講演会を開催する。

11月 障害者の健康維持を図るためにローリングバレーボールを開催する。

1月 地域福祉フォーラム2007において、「住民が主体的に参加する地域福祉の実践地域福祉コーディネーターとは」と題してルーテル学院大学学長市川一宏氏を招き講演会を開催する。

★国・◆県・▲町・■社会の動き

4月 ▲ 第3次寒川町高齢者保健福祉計画施行。

▲ 寒川町地域包括支援センター新設。

★ 「高齢者虐待防止法」施行。

▲ 寒川総合図書館・寒川文書館開館。

5月 ★ 「公益法人制度改革関連法」成立。

6月 ★ 「認定こども園設置法」公布（10月施行）。

10月 ★ 「障害者自立支援法」完全施行。

3月 ◆ 「こども・子育て支援推進条例」制定。

■ 夕張市財政再建団体に移行。

■ 流行語に『メタボ』『格差社会』など。

法人設立 20 周年以降 10 年間の歩み

平成 19 年度

少子高齢化の進行に伴う法改正などにより地域の柔軟な対応による支援や仕組みづくりが求められている中、地域福祉の充実を推進する。

4月 町より健康管理センターの指定管理（5ヶ年）を受託する。

小地域福祉活動では新たに小谷自治会・越の山住宅自治会が加わる。



菅谷台なごみサロン

7月 小地域福祉活動連絡会では「犯罪から高齢者を守る」と題して茅ヶ崎警察署による研修会を開催する。

10月 第 24 回福祉大会において、「聞いて納得成年後見制度」と題して神田織音氏を招き講演会を開催する。

次代を担う小・中学生に地域福祉の学習機会の提供として町内の各小中学校に依頼し、福祉作文の発表を実施する。



中学生ボランティア体験会

2月 地域福祉フォーラム 2008 において、「災害時に支えあうまちづくり～要援護者支援について考える」と題して講演会を開催する。

3月 事業目的の変更に伴い「いきいきふれ愛サービス」を廃止する。



家庭介護教室

★国・◆県・▲町・■社会の動き

4月 ▲ 「寒川町自治基本条例」施行。

7月 ★ 「福祉人材確保指針」改正。

■ 新潟県中越沖地震発生。

★ 民生委員創設 90 周年記念全国民生委員児童委員大会開催。

9月 ★ 国連の「障害者の権利条約」に署名。

10月 ★ 「社会福祉士及び介護福祉士法」一部改正。

11月 ◆ 県民児協が民生児童委員による災害時要援護者支援活動指針を発行。

12月 ★ 「老人福祉法」改正。

★ 障害者施策における「重点施策実施 5 カ年計画」策定。

■ 流行語に『どげんかせんといかん』『消えた年金』『ネットカフェ難民』など。

法人設立 20 周年以降 10 年間の歩み

平成 20 年度

地域福祉の課題は大きく変化し、地域住民の主体的な参加・協力がより一層求められている中、地域福祉活動計画に基づき事業を推進する。

5月 収益事業の一環として不要入れ歯回収ボックスを設置する。



子育てサロン

6月 一之宮小学校北側、寒川町教職員住宅 1 階にあつたボランティアセンターを健康管理センター 3 階に移転し、ボランティアによる生活支援の検討・試行「サポートさむかわ」を実施する。

社協の存在を PR するため、社協看板を 4ヶ所に設置する。



一之宮あつまろうサロン

8月 夏休みや春休みを利用して小学生ふくし体験会並びにボランティア講習会中学生ボランティア体験会を実施する。



事業所による清掃

12月 精神保健福祉ボランティア入門講座「心の病をもつ方との接し方」を開催する。

1月 寒川町と茅ヶ崎保健福祉事務所と社協の共催による地域福祉フォーラム 2009 において、「団塊世代のパワーを地域の活力に～支えあうまちづくり」と題して武蔵野大学教授川村匡由氏を招き講演会を開催する。

★国・◆県・▲町・■社会の動き

- 4月 ★ 75 歳以上の医療の新制度「後期高齢者医療制度」(長寿医療制度)開始。
- 6月 ★ 厚労省 地域包括支援センターに「認知症連携担当者」の創設を決定。
- 7月 ■ 平均寿命、女性 85.99 歳・男性 79.19 歳。
- 8月 ★ 厚労大臣が 11 月 11 日を「介護の日」と発表。
■ 北京オリンピック開催。
- 10月 ■ 全社協の前進である中央慈善協会が設立 100 周年。
- 3月 ★ ニートや引きこもりの自立支援「青少年総合対策推進法案」閣議決定。
◆ 犯罪被害者等への総合的支援「神奈川県犯罪被害者等支援条例」制定。
■ 流行語に『アラフォー』『グー』など。

法人設立 20 周年以降 10 年間の歩み

平成 21 年度

地域福祉活動計画に沿い、社協の基本理念である「住みなれた地域で安心して暮らせる思いやりのある福祉のまちさむかわ」を目指し、各種事業を実施する。

- 4月 評議員 1 名増の定款変更をする。
- 9月 小地域福祉活動では一之宮ソフィア自治会が新たに加わり、全 12 自治会へ助成を行う。
- 10月 第 26 回福祉大会において、「被災してわかったこと」と題して矢崎由美子氏を講師に招き講演会を開催する。
- 1月 地域福祉フォーラム 2010 において、「誰もが要援健康まつり援護者になりうる災害時をどう乗り切るか」と題して練馬区職員高橋洋氏を講師に招き講演会を開催する。
- 2月 ふれあい・スポーツ・健康まつりをはじめとした各種イベントに参加し、多くの住民に協力が得られるように社協を PR する。また、広報や情報発信を行い啓発に努める。



男性ボランティア募集のつどい



第 26 回福祉大会



茅ヶ崎市と合同での災害ボランティアセンター設置・運営訓練

★国・◆県・▲町・■社会の動き

- 4月 ◆ 神奈川県障がい者計画改定。
▲ 第 4 次寒川町高齢者保健福祉計画施行。
- 5月 ■ 裁判委員制度開始。
- 7月 ★ 厚労省が重い肝機能障害の患者を障がい認定、障害者手帳交付対象決定。
- 10月 ◆ 厳しい雇用情勢下、生活福祉資金・総合支援資金・特例つなぎ資金等大幅見直し。
- 11月 ◆ 日常生活支援事業（地域福祉権利擁護事業）10 周年。
- 1月 ★ 厚労省が「自殺・うつ病等対策プロジェクト」を設置。
- 3月 ◆ 「神奈川地域福祉支援計画」改定。
■ 流行語に『政権交代』『草食男子』など。

法人設立 20 周年以降 10 年間の歩み

平成 22 年度

地域のみなさんと共に福祉のまちづくりを目指すため、第 3 次地域福祉活動計画（地域つながりプラン 5 カ年）を策定する。

4月 地域福祉の情報発信の拡大を図るため、広報紙「社協さむかわ」を年4回から年6回の発行に変更する。



個人ボランティアとボラ連が
合同で情報交換会

6月 障がい者の自主的なスポーツクラブチームとして、ローリングバレー・ボールチーム「サムライ寒川」の立ち上げ支援を行う。



ボランティア対象の
認知症センター講座

10月 男性ボランティアグループ「パワーズさむかわ」の立ち上げ支援として研修等を開催する。

第 27 回福祉大会において、「がんばれ高齢者、お爺ちゃんお婆ちゃんは人間国宝だ」と題して青空遊歩氏を招き講演会を開催する。

11月 在宅高齢者や障がい者への生活支援（ちょっとしたお手伝い）として、「サポートさむかわ」を実施する。



ローリングバレー・ボール
クラブチーム “サムライ寒川”

★国・◆県・▲町・■社会の動き

4月 ★ 「子ども・若者育成支援推進法」施行。
◆ かながわ成年後見センター開設。

5月 ★ 「改正児童扶養手当法」成立（父子家庭にも手当支給）。

7月 ★ 「改正臓器移植法」施行（15歳未満の臓器移植可能に）。
★ 「改正障害者雇用促進法」施行。

8月 ▲ 町施行 70 周年記念事業町敬老会開催。

3月 ■ 東日本大震災発生。
◆ 共同募金会で東日本大震災に義援金募集を開始する。
■ 流行語に『ゲゲゲの…』『イクメン』『無縁社会』など。

法人設立 20 周年以降 10 年間の歩み

平成 23 年度

東日本大震災の被災地へのボランティアバス運行や、災害ボランティアセンター設置訓練の実施など、大規模災害について考える 1 年となる。

- 4月 第3次地域福祉活動計画「地域のつながりプラン」
推進 1 年目として、ダイジェスト版を発行し関係
団体等に出向くなど、プランの周知普及に努める。
- 県ボランティア事故共済事業の廃止に伴い、全社
協のボランティア保険への切り替えにより、町社
協でボランティア保険の受付を行う。
- 5月 障がいのある方への情報支援を図ることを目的に、
IT 支援ボランティア「さむかわ com」の立ち上
げ支援を行う。
- 9月 東日本大震災被災地（宮城県南三陸町）へのボラ
ンティアバスを運行し、瓦れきの撤去作業等の支
援を行う（2回目を 10 月に運行）。
- 10月 第 28 回福祉大会において、「私が見た感じた東日
本大震災」と題して県社協の重山勉氏を招き講演
会を開催する。
- 1月 地域福祉フォーラム 2012 において、「みんなで
気軽に集える場所をつくろう」と題して田園調布
学園大学教授、小野敏明氏を招き講演会を開催す
る。
- 3月 自治会回覧板に「あいさつでつながる人の和 地域
の輪」の啓発ステッカーを 8 千部作成し配布する。



障がい者 IT 講習会



宮城県南三陸町へ
ボランティアバス



湘南ブロック職員研修会で
岩手県釜石市社協の
事務局長が講演

★国・◆県・▲町・■社会の動き

- 5月 ★ 「改正民法・児童福祉法」成立（親の虐待から子どもを守るために親権停止可能に）。
- 6月 ★ 「改正NPO法」成立（税制優遇緩和）。
★ 「障がい者虐待防止法」成立（家庭、福祉施設等で虐待通報義務付け）。
★ 「改正介護保険法」成立（たん吸引等を介護福祉士の業務に位置づけ）。
- 7月 ◆ 東日本大震災支援・情報ステーション開設。
- 8月 ★ 厚労省が社会福祉法人新会計基準を決定。
- 2月 ★ 「改正障害者基本法」施行。
- 3月 ★ 「地域主権一括法」成立。
◆ 「重度障害者医療助成制度」の対象に精神保健福祉手帳 1 級を加える。
▲ 第 2 次寒川町地域福祉計画改定。
■ 流行語に『なでしこジャパン』など。

法人設立 20 周年以降 10 年間の歩み

平成 24 年度

第 3 次地域福祉活動計画「地域のつながりプラン」に基づき、福祉教育の推進や地域包括支援センターによる高齢者総合相談窓口を設置する。

- 4月 災害時における相互協力に関する協定を町と締結。
寒川町災害ボランティアセンター運営マニュアル作成に関わる。

利用者からの苦情に対する第三者委員会を設置する。

福祉教育に関わる小中学校福祉協力校の助成を町内全小中学校に拡大する。



災害ボランティアセンター設置訓練

- 7月 防災・減災に関する知識・技術の普及・啓発の取組として「さむかわ災害ボランティアネットワーク」の立ち上げ支援を行う。

- 8月 小地域福祉活動に倉見自治会が活動を開始する。



IT支援ボランティアグループ
さむかわ.com のパソコン入門教室がスタート

- 10月 第 29 回福祉大会において、「笑顔の地域活動～元気なあいさつは無敵です」と題して三遊亭多歌介氏を招き講演会を開催する。

- 11月 産業まつりに参加して被災地物産販売を行いPRに努める。



産業まつりで宮城県南三陸町の物産を販売し復興支援

★国・◆県・▲町・■社会の動き

- 4月 ★ 「改正民法」施行（児童虐待による期限付き親権停止制度へ）。
★ 「改正児童福祉法」・「改正介護保険法」施行（介護報酬改定）。
◆ 高齢者の孤立防止・見守り拠点に地域包括支援センター支所設置を助成。
▲ 第5次寒川町高齢者保健福祉計画施行。
- 6月 ★ 「改正ホームレス自立支援法」成立。
★ 「障害者総合支援法」成立（難病、重度訪問介護の対象拡大）。
▲ 第3期寒川町障がい福祉計画策定。
- 8月 ★ 「社会保障と税の一体改革関連法」成立（消費税増税が決定）。
- 9月 ★ 厚労省が「認知症施策5カ年計画（オレンジプラン）」を発表。
★ 「ひとり親就業支援法」成立。
- 10月 ★ 「障害者虐待防止法」施行。
■ 流行語に『ワイルドだろお』など。

法人設立 20 周年以降 10 年間の歩み

平成 25 年度

地域における孤立死や引きこもり、経済的な困窮、虐待の問題など多くの課題がある中、法人後見事業の立ち上げ協議を行う。また法人設立 30 周年を迎えるにあたっての準備等を行う。

- 4月 社協ホームページ全面リニューアルする。
- 6月 被災地へのボランティアバスを運行する（宮城県南三陸町、初の現地宿泊のプラン。2回目を 11 月に運行）。
- 7月 さむかわ災害ボランティアネットワークが設立される。
町営プールの閉鎖に伴ない、社協の売店が営業中止になる。
- 8月 寒川町総合防災訓練に参加し、災害ボランティアセンター設置運営訓練を行う（南小）。
- 法人設立 30 周年記念事業推進委員会を立ち上げる。
- 10月 第 4 回寒川町ふれあい福祉フェスティバルを開催する。
第 30 回福祉大会において、「お笑いで福祉のまちづくり」と題して笑福亭学光氏を招き講演会を開催する。
- 11月 法人後見事業立ち上げ準備検討委員会を開催する。
- 1月 地域フォーラム 2014 において、「子どもとおとの心を結ぶ地域力」と題してノンフィクション作家石川結貴氏を招き講演会を開催する。



さむかわ災害ボランティア
ネットワーク設立総会



第 30 回福祉大会



障がい者スポーツ体験会

★国・◆県・▲町・■社会の動き

- 4月 ★ 「障害者総合支援法」施行。
★ 「障害者優先調達推進法」施行。
★ 「高年齢者雇用安定法」施行。
★ 厚労省が「貧困の連鎖」を防ぐため、生活保護世帯の子ども学習支援強化。
▲ 圏央道（さがみ縦貫道）部分開通。
- 5月 ★ 「共通番号制度法（マイナンバー法）」成立。
- 6月 ★ 「子どもの貧困対策の推進に関する法律」成立。
- 8月 ▲ 社会福祉法人による総合生活相談支援「かながわライフサポート事業」開始。
■ 流行語に『今でしょ』『お・も・て・な・し』『じぇじぇじぇ』『倍返し』など。

社協の活動紹介

広報・宣伝・福祉教育

【社協さむかわ】

社協活動を地域のみなさんへ広く知っていただくため、また積極的に地域福祉を推進するため、広報紙「社協さむかわ」を、年4回、タブロイド版で発行していましたが、平成22年度からは、旬の話題をより多くお届けしようと、発行を年6回にするとともに、手元で広げやすいA4判の紙面に変更しました。紙面内容では、福祉作文の優秀作文（一部）を1月発行の広報紙に挟み込みの特集号で掲載を開始しました。紙面作りには1面に重点をおき、「手に取りたくなる、読みたくなる」に力を入れています。

【ホームページ】

急速なインターネットの普及と便利なIT端末等の増加から、ホームページをより充実させ広報媒体として活用していくことは、ここ10年でより強く求められるようになりました。平成23年度と25年度に全面リニューアルを行い、平成25年度のリニューアルでは、新たにブログを開始、申請様式等もダウンロードできるようにしました。



【ふれあい・スポーツ・健康まつり⇒ふれあい福祉フェスティバル】

町民交流の機会となっていた「ふれあい・スポーツ・健康まつり」は、毎年10月に開催されていましたが、平成16年度は荒天のため開催中止、そして諸般の事情から平成21年度の開催を最後に休止となりました。しかし、長年つないできた「ふれあい福祉」の交流の場を完全になくすのは寂しくなく、同時に、「ふれあい福祉部会」として参加してきた多くの地域の団体から、「社協主催で福祉のおまつりを継続して欲しい」との後押しをいただき、翌、平成22年度から、新たに「ふれあい福祉フェスティバル」を開催しています。主催は社協ですが、出店団体から選出される企画運営委員会とともに「みんなでつくる手づくりのフェスティバル」が根づいてきています。

【福祉大会】

年に1度、地域の皆様に感謝の気持ちを伝える場が福祉大会です。平成16年度の法人設立20周年記念・第21回福祉大会以降も、毎年10月の開催を継続しています。地域の皆様が気軽に参加できるきっかけになるように、「福祉講演会」の内容と講師を幅広く検討し充実させてきた結果、「社協の福祉大会の講演は面白い」とのお声を多くいただけたようになりました。また、小・中学生による福祉作文の発表では、会場全体が温かな優しい空気に包まれ、福祉大会のフィナーレを見事に締めくくってくれます。



社協の活動紹介

【産業まつり】

毎年11月、産業まつりの会場で、地域の皆さまからお寄せいただいた寄託物品をもとに「福祉バザー」を行いました。いつも販売開始前から大勢のお客様がつめかけ、お目当ての商品をめぐる攻防戦が、バザーの賑やかさをより一層盛り上げてくれました。



事前の値付けや当日の売り子には、寒川町民生委員児童委員協議会・寒川町婦人会・寒川町ボランティア連絡協議会にご協力をいただきました。平成23年度からは、社協の普及啓発に力を入れる内容での出店に切り替えるため福祉バザーは中止し、例年のポップコーン販売とあわせて「高齢者疑似体験」、社協のチラシの配布と説明、ボランティアセンターのPRなどを行っています。また、東日本大震災を受け、平成23年度からは、東北の物産を取り寄せての復興支援物産販売も行っています。

【地域福祉フォーラム】

平成18年度から、神奈川県の「地域福祉コーディネーター養成事業」として、「地域福祉フォーラム」を毎年1回開催しています。神奈川県茅ヶ崎保健福祉事務所・寒川町福祉課・社協の三者共催で取り組み、毎年、様々なテーマと講師を設定しています。取り組みの成果として、新たなボランティアグループの立ち上げや地域でのサロン開始などがあります。地域福祉を進める中核となるのが社協であることから、回を重ねるごとに社協の役割は増しており、社協を伝えるための普及啓発の機会にもなっています。



【福祉作文】

小・中学生を対象に、福祉について考えるきっかけづくりとして、毎年、夏休みの期間に募集をしています。作文を書く題材にもなるようにとの思いから、近年では、各学校を会場に福祉体験学習の実施や障がい者スポーツ体験会等を行っています。各学校のご協力もあり、福祉作文の応募数は近年増加傾向となっており、福祉作文審査会を経て選ばれる優秀作文は、福祉大会での発表、福祉作文集や広報紙への掲載、県コンクールへの応募を行っています。

【小学生ふくし体験会、中学生ボランティア体験会】

次代を担う子ども達に、福祉を考える、福祉を体験・体感する場を提供するため、小学生には1日のみの福祉体験プログラムを、中学生には夏休みに社協のサロン等に参加してもらう4日間ほどのプログラムを毎年実施してきました。ほんのひとときの時間ではありますが、子ども達が一生懸命に話を聞き、プログラムに取り組む姿がありました。平成24年度から、

社協の活動紹介

町内全小中学校に福祉協力校の取り組みを拡大することになったため、体験の場は社協から各学校へ移りました。



【小中学校ボランティア協力校指定事業から小中学校福祉協力校助成事業へ】

寒川町教育委員会の協力のもと、毎年、小学校2校・中学校1校をご推薦いただき、福祉教育のための助成金の交付と福祉体験プログラムのサポートをしていた「小中学校ボランティア協力校助成事業」は、平成24年度から「小中学校福祉協力校助成事業」に変更しました。町内すべての小中学校に「福祉を育む学びの場づくり」に取り組んでいただけるよう、毎年、助成金を交付し、よりきめ細やかな体験プログラムが可能になりました。社協と学校の先生方で打合せをすることから始まり、以前と同様に地域のボランティア団体や当事者団体が積極的にサポートをしてくれています。優しく頼もしい福祉の芽が、毎年、すくすくと育まれています。



※福祉を育む学び…福祉の知識や技術を一方的に教えるような形の福祉教育ではなく、世代や立場に関わらず誰もが、地域の課題に気づき、関心をもち、考え、行動し、人とつながっていく主体的な学びを意味します。

【実習生の受け入れ】

社会福祉士を志す学生を受け入れ、社会福祉援助技術現場実習を行っています。平成23年度からは、実習に関する制度の変更に伴い、実習期間が12日から24日間に拡大されています（受け入れ大学：東海大学、日本福祉大学など）。

社協の活動紹介

在宅福祉サービス活動及び関連活動

<日常生活自立支援事業>

日常生活自立支援事業とは、高齢者や障がいをお持ちの方を対象に福祉サービス利用に向けての援助や情報提供、金銭管理の支援を行うことで地域で自立した生活を送れるよう支援する事業です。

平成12年度から開始しましたが、過去10年を振り返ると、年度末時点での利用者数は平成16年度で10件であったのが、25年度では19件にまで増えています。また年度途中で新規契約をする方、解約をする方がいられるので本事業において関わった方はもっと多くいることになります。



相談者の傾向としては、開始当初は行政からの相談が殆どであったのが、福祉事業所へと広がり、最近では町民の方から直接相談も寄せられることもあり、認知度が高まりつつあることがうかがえます。

この事業は成年後見制度を補完する事業であり、契約により支援を提供することから、契約に際しては契約締結能力がある方が前提となります。しかし事業の開始から10年以上が経過し、事業利用者の加齢や障がいの悪化等により契約能力が無くなってしまった方の成年後見制度へのスムーズな移行が課題に挙げられるようになりました。

本会としては、その課題と福祉に関する動向において成年後見制度に関する取り組みが積極的に行われている中、成年後見制度の担い手を法人として引き受ける法人後見事業を新たに立ち上げ、平成26年10月からスタートしました。



<送迎サービス>

ボランティアの方々のご協力のもと、送迎サービスを行っています。

現在は①身体障害者手帳1級もしくは2級の方②日常生活で常時車いすを使用されている方③70歳以上で独居または高齢者のみの世帯のいずれかに該当し、月4回、病院への送迎に限って実施しています。

平成16年度以降、利用件数の状況等により、その都度事業の見直しを行ってきましたが、今後利用者が一層増えることを踏まえ、また新たなニーズにも対応すべく平成27年4月より新しい送迎サービスの形として福祉有償運送事業を開始する予定です。平成26年度においてはそのあり方の検討を行っています。

社協の活動紹介

<紙オムツ代助成事業>

在宅で寝たきりの高齢の方と在宅で障がいをお持ちで常時紙オムツを必要とされている方を対象に、支払った紙オムツ代の半額を助成する事業を行っています。

高齢者の助成は町からの委託事業で、平成16年度は利用件数は45件であったのが、高齢化を反映してか平成25年度末においては163件の利用がありました。平成26年度から町県民税課税額が5万円以下の方に対象を絞らせていただいています。

障がいをお持ちの方への助成は年末たすけあい運動で集められた募金を使って事業を行っています。平成16年度の利用件数は10件であったのが、平成25年度末は64件の利用がありました。

<車いすの貸し出し>

車いすは1ヵ月を目安に無料で貸し出しています。

急な一時利用に際して、皆様から喜ばれています。

<いきいきふれ愛サービス>

平成4年10月にスタートした「いきいきふれ愛サービス」は、平成16年度以降、平成12年度からの介護保険法による訪問介護事業（ヘルパー派遣事業）、居宅介護支援事業（ケアプラン作成）、並びに町からの委託、社協の自主事業によるヘルパー派遣を行っていました。また、平成15年度の支援費制度、平成18年度の障害者自立支援法に基づく居宅介護事業による障がいをお持ちの方へのヘルパー派遣も行っていました。

町内に福祉事業所が多く参入してきた関係で、平成18年度末を以て居宅介護支援事業、平成19年度末を以てヘルパー派遣事業は終了しました。



<在宅介護支援センター>

平成12年度から在宅介護支援センターを受託してきましたが、平成18年度の介護保険法の改正により、その機能は地域包括支援センターに移行しています。

<美容サービス>

寒川町美容師奉仕の会により、美容師の方の休みを利用して、在宅で寝たきり高齢者の方（主に介護度3・4・5）を対象に訪問をして髪の毛のカットのサービスを行っていました。

寝たきりの方の髪型は介護をしやすいように短くされがちでしたが、「寝たきりでもオシャレを楽しみたい」という利用者の気持ちを汲んで髪のカットをして下さり、利用者の方から大変喜ばれていました。

利用件数が減少してきたことをふまえ、担い手の美容師奉仕の会との話し合いを経て、平成22年度末を以て終了しました。

社協の活動紹介

ボランティア活動及び地域づくり交流事業

ボランティア活動…

【ボランティアセンター】

「ボランティアをしたい方」と「ボランティアを頼みたい方」を結びつけるボランティアセンターは、たくさんの個人やグループのボランティアの方に支えられています。平成20年には一之宮の寒川町教職員住宅から、寒川町健康管理センターへ事務所を移転しました。ボランティアは、地域の皆さまによる、地域の皆さまのための支えあい活動、ボランティアセンターは皆さまの温かい気持ちが集まるホットな場所です。



【ボランティア活動の4原則】

- | | |
|---------------|---------------|
| ①自分からすすんで行動する | 「自主性・主体性」 |
| ②ともに支え合い、学び合う | 「社会性・連帯性」 |
| ③見返りを求めない | 「無償性・無給性」 |
| ④よりよい社会をつくる | 「創造性・開拓性・先駆性」 |

※交通費、昼食代、材料代等の実費は無償の範囲。

【ボランティアの推移】

年度	個人登録 ボランティア (新規登録)	個人登録 ボランティア 派遣人数※	ボランティア 連絡協議会 加盟団体数	新たな ボランティア 活動や団体等
平成16年度	166 (31)	1,425	17	かたらいの会
平成17年度	148 (24)	1,266	16	
平成18年度	142 (32)	2,303	15	
平成19年度	136 (18)	2,085	15	
平成20年度	152 (27)	2,119	15	サポートさむかわ
平成21年度	161 (26)	2,590	15	
平成22年度	169 (24)	2,373	15	パワーズさむかわ
平成23年度	150 (15)	2,467	14	さむかわ.com、東日本大震災被災地支援ボランティアバス
平成24年度	140 (18)	2,014	13	
平成25年度	141 (7)	2,412	13	さむかわ災害ボランティアネットワーク

※主な活動内容は、送迎、保育、施設手伝い、サロン、個別支援等で、高齢者、障がい者、子ども（子育て支援）に関わります。

個人登録ボランティア登録数は徐々に減少していますが、派遣人数は平成18年度以降、毎年2千人を超えており、ボランティア活動が定着していることがうかがえます。特に近年は、町主催事業の多くが「保育あり」となっており、その保育のほとんどは本会の保育ボランティアが対応しています。ボランティア連絡協議会加盟団体数も徐々に減少してきましたが、新たなボランティアグループの発足もありましたので、今後、グループ間の連携と情報共有をどう進めるかによって、より多くのボランティアエネルギーを發揮できるものと思います。

社協の活動紹介

地域づくり・交流事業…

【ふれあい・いきいきサロン】

平成7年に指定を受けた「ふれあいのまちづくり事業（国県町補助事業）」によりサロンづくりが進みました。地域のボランティアの多大な協力でサロンの運営をしてきましたが、開始から20年近くが経過し福祉制度等も変化する中、サロンの再構築が求められています。

高齢者サロン…65歳以上の方を対象に講師の指導による「カラオケ教室」を毎月1回開催、会場には北部・南部文化福祉社会館を隔月で使用してきました。カラオケを楽しめる場所が町内に増えてきたこともあり平成24年度から休止しました。

障がい児者サロン…心身に障がいのある4歳以上の方を対象に、季節のイベントや町外への外出、お芋掘り等、ボランティアと一緒に楽しいひとときを過ごしながら交流し、そのことが障がい児者の家族にとっては、ほんの一息の介護の休息時間になるよう開催してきました。毎月1回の開催でしたが、平成24年度からは春夏秋冬、年4回のイベントにし、初めての方も参加しやすいような工夫を試みています。

子育てサロン…2、3歳の子どもとその親を対象に、季節感のある工作や歌、イベント等、親子が一緒に参加し集団生活にも慣れる場として開催しています。平成21年度までは、北部・南部文化福祉社会館を会場に月1回ずつ、平成22年度からは町健康管理センターで月1回開催しています。会場が1つにまとまったことで、より多くの親子のふれあい、仲間づくりの場となっており、参加者は毎年ママ友同士の口コミで増えています。



【小地域福祉活動】

地域で安心して暮らせることを支える一つの方法として、身近な場所でのつながり（サロン等）や見守り活動があります。それらを自治会の皆さまのご協力で進めていただきため活動経費の支援や活動の立ち上げ支援等を行っています。平成11年度の取り組み開始以来、活動数は着実に増え、現在、町内18の自治会がそれぞれのアイディアで取り組んで下さっています。

【ひとり暮らし高齢者お楽しみ会、ひなまつり会】

民生委員児童委員の協力により「ひとり暮らし高齢者名簿」を作成し、年に2回は対象者に呼びかけて行事を開催してきました。なかなか遠出ができない事情もふえまえ、町外への日帰り旅行や時には町内での落語の寄席、養護老人ホーム湘風園との共催によるひなまつり会等、多くの方にご参加をいただき、新たな友達ができる場でもありました。急速な高齢化と地域での支えあいの充実



社協の活動紹介

のため、より地域に身近な場所でのサロン活動等に発展させることを目的に、平成22年度を以て休止しました。



【ひとり親世帯親と子のつどい】

母子家庭、父子家庭という言葉から、「ひとり親家庭」へと呼び方が変化しています。日々の子育てや仕事、経済的な事情等から、家族そろっての外出、遠出ができない世帯が多い中、せめて年に1度の日帰り旅行で親子のふれあいの時間をとの思いから開催してきました。近年、ひとり親であることをオープンにして共有することに抵抗がある方、また大勢で集まるより個人で楽しむという考え方の方が増え、事業の見直しの必要性から平成22年度を以て休止しました。

【介護者交流会】

日々、家族の介護に追われる介護者に、同じ境遇の方同士で集うことでの思いの共感、感情吐露、情報交換や励まし合い、そして心と体の休息を願い、年に1度、介護に支障のない時間帯で開催してきました。介護保険制度の開始等で、介護者の休息等が少しずつ可能になり、この介護者のつどいへの参加人数も減ってきました。事業の見直しと合わせ、平成22年度を以て休止しました。



【ローリングバレーボール体験会】



「障がいのある方と一緒に楽しめるスポーツ『ローリングバレーボール』を寒川町で始めたい」という民生委員児童委員からの相談を受け、社協がともに立ち上げ支援をし、平成18年11月、第1回の体験会を寒川総合体育館で開催しました。以降、月1回の体験会を平成21年度末まで継続し、平成20年度からはクラブチームとしての独立を進め、平成22年4月、ローリングバレーボールクラブチーム「サムライ寒川」が誕生しました。地域の皆さんのが参加と協力で元気いっぱいの活動が続いています。

社協の活動紹介

東日本大震災復興支援事業

東日本大震災と寒川町社協

【平成23年3月11日（金）午後2時46分】

事務所でパソコンを打っていた。突然、聞いたことのない声が、事務所隣の相談室に設置してあった防災行政無線から聞こえてきた。「緊急地震速報、今から約40秒後に強い揺れがきます…」一気に高まる強い恐怖と緊張感、揺れの開始まで何秒あったのか、確かに、40秒くらいあったのかもしれない。そして、徐々に事務所全体が揺れ出す、横に、横に、グラグラと、そしてどんどん揺れが大きくなり、止まらない。職員はそれぞれ、身の安全確保をしながら立ち上がり、回りの状況を確認しつつ動いた。台から落ちそうなパソコンを押さえる職員、とっさに重要印鑑が納められた箱を床に置き守った職員、そしてまだ揺れている中を、館内にいる人の避難誘導のため、数名が事務所を飛び出した。自動ドアを開けたままにして電源を切り、走った。1階の予防接種室には身体が不自由な方が大勢いて、発語訓練「ことばの教室」が開催中だった。2階の会議室では栄養士のボランティアグループ「にんじんの会」が食育の人形劇の打合せをしていた。3階ボランティア活動室では、傾聴ボランティアグループ「かたらいの会」が活動中だった。最初の揺れがおさまった後、来館者は全員無事に外に避難し、同時に、帰宅の途につき始めた。職員は館内の安全確認に回る。テレビからは想像を絶する言葉と映像が流れ始めた。そして大きな余震、特に3階ボランティアセンター事務所は激しく揺れ、給湯室の食器棚の中でたくさんの食器が割れ、ボランティア活動室の大きなキャビネットが倒れてガラスが割れた。その後も、繰り返しの緊急地震速報と揺れ、当初は、「東北関東大震災」との発表、これから何が起きるんだろうと、ただただ、怖かった。

【すぐに被災地支援には行けない、事務所で何ができるか】

震災の翌日と翌々日、ボランティアの会合が入っていた。予定していた皆さんに無事にお会いできて安心したのを覚えている。そして早速、被災地へのボランティアのバスは出ないのか?、支援物資の受付は?災害ボランティアセンター情報は?等々の問い合わせ、計画停電の予定確認と周知、3月末にかけて予定されていた事業の中止連絡等、主に情報の把握と提供に努めた。やがて、神奈川県内の社協が支援する先が岩手県の釜石市社協と決まる。社協が全国にネットワークがあることの強みだ。続々と神奈川県から岩手県釜石市に社協職員が派遣される中、寒川町社協は志願できる状況ではなかった。まずはできることをやって、時期を見て、ボランティア派遣のバス等を運行していくこうと話し合った。

【ようやく運行できた、被災地支援ボランティアバス】

震災から半年が過ぎる頃、ようやく、寒川町社協のボランティアバスの運行の目途がたった。その少し前の夏に、町内の日産工機労働組合が被災地支援ボランティアに出かけるための調整を手伝わせていただいたことで、かなり具体的なイメージをつかめた。まずぶつかったのは、団体のボランティアの受け入れが可能な災害ボランティアセンターの確認である。夜行日帰りのバスで考えていたため、岩手県は行き先として難しかった。福島県か宮城県でどこか…数カ所に問い合わせ



社協の活動紹介

せる中、快く受け入れを了解してくれたのが宮城県南三陸町だった。南三陸町といえば、雪の降る中ずぶ濡れで、「食べ物が不足している」とテレビに訴えた佐藤仁町長、「津波が襲来しています、高台へ避難してください」と防災無線で呼びかけ続け亡くなった遠藤未希さん、鉄骨の骨組みがむき出しになりゆがんでしまった防災対策庁舎。ボランティアバスの参加者は、「限られた時間だけ精一杯活動してこよう」と、一致団結して南三陸町に入った。平成23年度から25年度の3年間で、計6回のボランティアバスを運行した。被災地支援のボランティアバス運行は寒川町社協にとって初めてのこと。

第1回：	平成23年 9月30日（金）～10月 1日（土）	参加者 25名
第2回：	10月14日（金）～10月15日（土）	25名
第3回：	平成24年 6月 6日（金）～ 6月 7日（土）	17名
第4回：	6月15日（金）～ 6月16日（土）	16名
第5回：	平成25年 6月 7日（金）～ 6月 9日（日）	13名
第6回：	11月 1日（金）～11月 3日（日）	12名

- ・現地での活動は、瓦れきの撤去と分別、瓦れき撤去前の草刈り、ガラスの破片拾い等
- ・第1回～第4回は、参加費1,000円、夜行日帰り運行・車中泊・現地宿泊無し。
- ・第5回～第6回は、参加費10,000円、夜行運行・車中泊・現地1泊。
- 宿泊は現地の民宿「清観荘」、宿のご主人のお話、第6回は防災対策庁舎での献花も。
- ・いずれの回も、共同募金会が実施している被災地支援活動のための助成金を活用。

～被災地支援ボランティアバスに参加して下さった皆さん～



【復興支援のために、南三陸町の物産を販売しよう】

東日本大震災の復興には長い時間がかかる。ゆえに、1番求められる気持ちとは…「震災を風化させない、忘れない、できる範囲の支援を継続する」ではないだろうか。

平成24年度の産業まつり出店時から、例年のポップコーン販売とあわせて、南三陸町から物産を取り寄せ販売をしている。美味しい海の幸、手作り商品等、毎年完売しており、皆さまの「少しでも支援になれば」の気持ちがありがたい。

社協の活動紹介

～広まる、花のネックストラップ～

南三陸町の物産の仕入れから、爆発的な人気商品が誕生した。「風や」が手作りしている、皮でできた花のネックストラップが、寒川町内で、町外で、広まっている。すでに200個ほどを仕入れ、人から人へ、口コミで愛用者が増えている。「現地には行けないけど少しでも支援になるなら」、「仕事中はいつも身につけているし、職場内にも広まっている。南三陸町の復興を心から願っている」、自分にできる方法で支援を続けることが、震災を風化させないことにもつながる。



【東日本大震災が教えてくれたこと、教訓を活かすこと】

「普段からのつながりが災害時に強く生きる」、このことを何度も、多くの人から聞いた。そして、「災害に備えることは減災につながり、減災は災害からの復興を早める」ということも。東日本大震災を経験したことで、様々なことが動き出した。

平成24年4月20日 災害時における相互協力に関する協定を町と締結

大規模災害時、ボランティアの受け入れ拠点となる災害ボランティアセンターの設置と運営を町社協が担うということが協定で確認された。協定締結を受け、災害ボランティアセンターの運営を社協とともに担うことができる地域住民のボランティアの組織化を加速させた。

平成24年12月1日 ボランティア活動報告会「忘れない、東日本大震災」開催

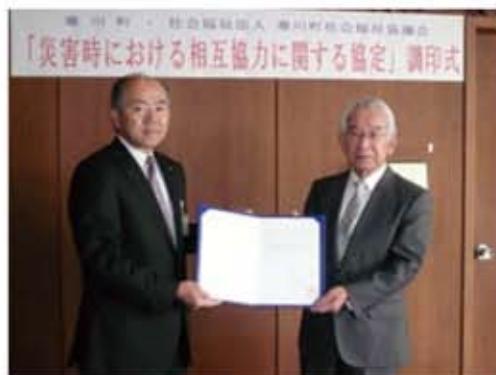
改めて東日本大震災を振り返るとともに、被災地支援ボランティア活動を行っている個人や町社協のボランティアバス隨行職員から体験談を聞き、今後のことについて話し合った。立ち上げ準備中の「さむかわ災害ボランティアネットワーク」の協力で開催できた。

平成25年7月7日 さむかわ災害ボランティアネットワーク設立総会

寒川町災害ボランティアセンターの運営を担う災害ボランティアコーディネーターとしての活動と、平常時は災害ボランティアコーディネーターとしてのスキルアップを始め、防災・減災に関連する知識・技術の普及・啓発に関する活動、これらを大きな活動内容とする「さむかわ災害ボランティアネットワーク」が発足した。

～町社協は、つながりづくりを呼びかける～

サロン活動や見守り活動等、ご近所を単位とした「つながりづくり」を今以上に普及・啓発できるよう取り組む。普段のつながりが、災害時に強く生きることを伝え続ける。



寒川町社会福祉協議会法人設立30周年のお祝

寒川町自治会長連絡協議会 会長 右城 栄一

寒川町社会福祉協議会が、社会福祉法人設立30周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

寒川町社会福祉協議会が多くの関係諸団体や住民個々の支援を得て、今日を迎えた事は職員各位の並々ならぬご尽力の賜と心より敬意を表します。

しかし、勿論ここが到達点ではなく、これから10年、20年をどの様な姿に創り上げて行くかが更に重要な事だと考えます。私達、地域に密着した活動を展開している、全23自治会としても単に毎年社協の一般会費を集めるだけに止まらず、町内全人口の23%を超す高齢者と将来の寒川を担う子ども達に郷土寒川を愛してくれる環境を創り上げて行くために、常に社協と共に何をすべきかを考える大切な節目でもあると考えます。

寒川町の人口推移は、ここ数年人口減少が顕著な市町村が多く見られる中、ほぼ横ばいが続いています。これは、見方によれば寒川町の魅力・ポテンシャルティの高さの証でもあります。この様な状況をベースとして、社協が果たす役割の維持向上を図るために、その一翼を担う自治会はより魅力ある活動を展開することが求められていると考えます。即ち、災害時要支援者把握調査や防災避難訓練、様々なイベントを通して世代間交流の促進、青少年健全育成を実現し、老若男女・健常者も障がい者や認知症の方々も分け隔てなく暮らせるインクルーシブな地域環境を作るためにも自治会活動は大きな役割を担っていると考えます。

今後とも「住民の満足」実現のために、住民目線に立って寒川町社会福祉協議会と協力し合いながら進んで行きたいと考えております。共に力を合わせて頑張りましょう!!

終わりに、貴協議会の一層のご発展と職員各位のご健勝・ご活躍をご祈念申し上げ、お祝いの言葉と致します。

寒川町社会福祉協議会の法人設立30周年を祝う

寒川町民生委員児童委員協議会 会長 青木 澄雄

寒川町社会福祉協議会の、法人設立30周年を心からお慶び申し上げます。

私たち寒川町民生委員児童委員協議会は、社会福祉協議会と共に幼児から高齢者のお世話、生活困窮者、家庭への生活資金援助及び福祉フェスティバルなどで協力し、町民の皆様の社会福祉を支え合っています。

人々の必要としている支援とは、質素でも健康的な生活ができる心のゆとりが必要であり、経済的や物質的なものだったりします。前者には隣近所の人、友人が宮沢賢治の雨ニモマケズの詩にある一節のような付き合いが必要な場合もあり、後者には社会福祉協議会や行政などが取り組まれている目先の支えから自立までの計画的、長期的な組織だった支援が必要です。これらの必要としている機能を兼ね備えているのが寒川町社会福祉協議会であり、民間運営である福祉のネットワークの核であります。

社会福祉協議会は他の福祉組織と結びつき個人や家庭が必要としている様々な支援を理解し行動可能な組織です。30年にわたり培った仕組み、ノウハウがこれからも町民の福祉に生かされることをお願い致します。

最後に寒川町社会福祉協議会を支えている皆様のご協力に感謝し、職員の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

共に歩んだ30年

寒川町ボランティア連絡協議会 会長 飛弾 恭子

社会福祉法人寒川町社会福祉協議会の発足30周年おめでとうございます。

心よりお喜びを申し上げます。

私たちボランティア連絡協議会も30年前、年を同じく活動を開始致しました。当時は、だんだんと暮らしが向上し、物の豊かな住み良い社会となっておりました。しかし、人口増加と共に公害問題や高齢化、核家族化が進みつつ、人間関係が希薄になり、複雑化した世の中にもなっていました。

そんな中、「人間は一人では生きていくことが出来ない。人との関わりの中で、助け合い、励まし合いながら、自分の持っている小さな幸せを、少しでも社会のために分かち合う」という気持ちで、ボランティア活動が活発に行われる様になり「ボランティア連絡協議会」の発足になりました。

最初は12グループの参加でお互いに連携を図ると共に、活動の普及や充実を目指していましたが、30年の間、グループの増減もあり、活動も一様ではありませんでした。現在は13グループ、320人程の会員があり、それぞれが連携をとりながら、活発に活動しています。

当初から、歴代の当協議会会長は社会福祉協議会の理事を務め、また事業等にはグループ会員を動員し参加、協力しております。

今後も社会福祉協議会と連携し、そして支えていただきながら、寒川町の福祉増進のために頑張っていきたいと思います。

終わりに、寒川町社会福祉協議会のますますの御発展をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。



寒川町社会福祉協議会30周年によせて

寒川町福祉団体協議会 会長 伊藤 久美子

寒川町社会福祉協議会の法人設立30周年を心よりお慶び申し上げますとともに、創立以来、寒川町社会福祉協議会発展にご尽力された方々に敬意を表します。

さて、30年前に寒川町社会福祉協議会が創設したことにより、寒川町に暮らす障がいのある方々にとって大きな存在になりました。

社会福祉協議会設立10年後には、障がいを持つ当事者団体と親の会でなる団体「福祉団体協議会」が設立され、今年で20周年を迎えます。

現在は、障害者総合福祉法が施行され、個々にサービスを受けることが当たり前になりましたが、20年前は措置制度の中でのサービスだけでした。その当時に寒川で暮らす支援の必要な方には、唯一の光だったのです。ボランティアセンター設立・障害者サロンの開設で支援の幅が広がりました。

福祉団体協議会の活動拠点ともなり、当事者と行政や関係者との懸け橋となり支えていただいています。

今後、更なるパートナーシップで、障がい福祉を推進させていきたいと思っております。お互いの役割を確認しあい、共に、安心して生きがいあふれる寒川町を目指したいと考えております。

最後になりますが、寒川町社会福祉協議会の今後更なるご発展と職員各位のご活躍をお祈りいたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

「これからの10年の福祉を考える」

「これからの10年の福祉を考える」と題して、平成26年7月7日、若い世代を中心に、将来の寒川町や社会福祉協議会に求めること等についてお話しいただきました。

メンバー（敬称略）

山本 繁樹 立川市社会福祉協議会（東京都） 地域生活支援課長
今回の座談会のコーディネーター

齊藤 由紀子 個人登録ボランティア

谷村 秀次 ボランティアグループNASSの会代表、寒川町ボランティア連絡協議会副会長

小原 多香恵 平成16年度福祉作文・優秀作文受賞、現在大学生

三好 孝弘 寒川町福祉部福祉課

稲葉 康宏 寒川町社協 地域包括支援センター担当

佐藤 敬 寒川町社協 地域福祉担当

浅野 瑞水 寒川町社協 地域福祉担当・ボランティアセンター

山本 3月に湘南ブロックで研修を担当したご縁で今回コーディネーターをさせていただきます。本日は、社会福祉協議会（以下社協）に係る地域の課題、寒川町の強み、10年後にどういう地域になっていたいか、そのためにそれぞれの立場で何ができるか、社協への期待について、ざっくばらんにお話をしていただけたらと思います。まず自己紹介をお願いします。



コーディネーター
山本繁樹

谷村 ボランティアグループNASSの会から参加させていただきました。NASSの会は日産工機労働組合に事務局を置いていて、就業時間の前後を利用し、病院等への送迎ボランティアを行っています。最近は、希望する方と私たちの活動できる時間が一致せず活動が停滞しているのが実態ですが、メンバーは何かお手伝いができないかという思いで活動を続けています。

私たちの会はボランティア連絡協議会（以下ボラ連）に加盟しているので、今日は

ボラ連加盟団体の代表ということも含めて話ができればと思っています。

ボラ連は現在13団体が加盟していて、社協の法人設立と同様に今年で30周年を迎えます。定期的に委員会を開催し、各グループの活動を共有したり、合同で研修会等を行ったりすることで、プラスアルファの相乗効果が生まれています。また、町民の皆さんに各グループの活動を知ってもらうためにも、毎年秋に開催する「ふれあい福祉フェスティバル」にボラ連として出店して、活動のPRをしています。

三好 町行政の代表、福祉課の若手として参加させていただきました。昨年の4月から福祉課に異動になったのですが、業務が多岐に渡るなと感じています。窓口にもいろいろな方がみえ、1回の相談では解決できないケースが多いです。自治会、民生委員、住民の方とも接する機会が多く、社協、地域包括支援センター（以下包括）に協力いただいてます。

佐藤 日常生活自立支援事業を担当しています。この事業は成年後見制度を補完する

事業で、契約により対象となる方と定期的にお会いして、福祉サービスの情報提供をしたり、日常使いの範囲の金銭管理のお手伝い等をします。他、成年後見制度の担い手不足が叫ばれている中、社協が法人としてその担い手になるための法人後見事業の立ち上げに現在取り組んでいますが、その担当も受け持っています。

稲葉 包括を担当しています。包括は介護保険法に定められ各市町村に設置されています。高齢者の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行うことを目指しています。平成18年度より町庁舎1階に設けられました。寒川町は起伏もなく、どの地域でもセンターから10分あれば行くことができます。高齢者介護にとっては大きな利点だと思います。

齊藤 子どもがダウン症で、サロンに参加したのがきっかけで社協とのお付き合いが始まりました。社協にはお世話になるばかりで私にも何かお手伝いできる事はないかと思い、幼稚園の教師をしていた経験もふまえ、今は保育ボランティアをさせてもらっています。

小原 小学校4年生の時の福祉作文が入賞したのがきっかけで本日の座談会に出席させていただきました。正直言って社協のことはあまり知らないです。小学校の時はスペシャルオリンピックスに興味があり、調べたりしていました。中学・高校・大学は町外ですが、出身の南小学校でボランティアをすることもあります。現在大学では教養科目で社会学を学んでいますが、福祉は学んでいません。若者のボランティアが少ない理由などを自分自身のことから考えてお話ししたいと思います。

浅野 ボランティアセンターを担当しています。常勤1名、非常勤2名でボランティア活動の連絡調整やボランティア募集、い

ろいろな相談を受けたりしています。現在、個人登録ボランティアは110名ほど、日常生活のちょっとしたお手伝いをするサポーターが25名ほどです。その他、ボランティアグループも多く活動しています。ボランティアさんが活動する環境がどういう状況なのか、安全面も含めて、ボランティアセンターがしっかりと把握して活動の可否を判断しなければいけません。また、現在活動しているボランティアさんからは、次の世代にボランティア活動をバトンタッチできる環境づくり、しくみづくりを、ボランティアセンターとして進めてほしいとのお声をいただいています。個人やグループのたくさんのボランティアさんとのつながりを大切にしながら、これから先のことを考えていかなければと思っています。



浅野 瑞水



齊藤由紀子

幼稚園の教師をしていた経験もふまえ、今は保育ボランティアをさせてもらっています。

小学校4年生の時の福祉作文が入賞したのがきっかけで本日の座談会に出席させていただきました。正直言って社協のことはあまり知らないです。小学校の時はスペシャルオリンピックスに興味があり、調べたりしていました。中学・高校・大学は町外ですが、出身の南小学校でボランティアをすることもあります。現在大学では教養科目で社会学を学んでいますが、福祉は学んでいません。若者のボランティアが少ない理由などを自分自身のことから考えてお話ししたいと思います。

ボランティアセンターを担当しています。常勤1名、非常勤2名でボランティア活動の連絡調整やボランティア募集、い

地域の課題

谷村 今年のボラ連総会の第2部で「今後のボランティア活動を考える」をテーマに30名あまりの方々と話し合いをしましたが、各グループ共通の悩みは、今後の担い手がないこと、世代交代がうまくいっていないことでした。

参加していたメンバーはほぼ女性で、男性は2人だけだったことから、男性にいかに参加してもらえるかという話になり、「男性のボランティアをしたい気持ちをどうやって巻き込んでいくか。現役時代に組織の中で仕事をしてきて、定年後もまた組織に入るのが難しいのでは?」という声が出ていました。男性の力は重要です。男性の力をいかに取り込めるか、また次世代にこの活動をどうつなげていけるかということが課題です。

山本 ボランティアは高齢化していて若者がいない、男性はきっかけがなくボランティア活動をスタートできない、埋もれている、という課題があるわけですね。

三好 町で災害時要援護者把握事業をして
います。自治会で把握調査をしていただいていますが、「地域の支援者」を書く欄に名前が入っていない人が多いです。そういう時は

三好 孝弘
自治会に依頼していますが、実際は近所の方が支援できた方が望ましいので、地域の支援者の名前を書いてもらえるような体制作りをしていかなければなりません。ご近所とのつきあいが希薄になっていることを課題として感じています。

倉見、宮山などの高齢者の人たちは買い物どうしているのでしょうか？気軽に買い物に使える送迎サービスがあつてもいいですね。買い物だけでなく遊びに行かれるような送迎サービスもあるといいのではないかと感じます。

山本 買い物の問題も今全国的な課題となっています。地方にいけばいくほど、特に車の運転ができなくなった途端に買い物が課題になることが多いですね。

佐藤 日常生活自立支援事業を担当していくことは、寒川は「困っている人を助ける」という土壤があるのだなということです。「近所の人が心配だ」という連絡をいただきたり、具体的に事業の利用に繋がった方も居られます。また、事業利用者の中には、障がい手帳等を持たず、何の制度にも引っ掛からずに社協しか関わっていないという方もいます。そういう制度の狭間に埋もれてしまっている人は潜在的に多いのだろうと思います。担当者として、現在社協しか関わっていないという方をどう地域社会にインクルージョン^{※1}していくかが課題です。

山本 サイレントプア、声なき声ですね。声を出せないけれど、困っている人が地域にいる、その人たちをどのように助けてい

くかですね。地域の一員としてより参加してもらうというのがテーマですね。

稲葉 寒川では地域柄そういう方も暮らしてきた環境にあり、生活しやすかったのでしょうか。それが高齢化等の原因で表出した感じでしょうか。

山本 寒川の良さは何ですか？

齊藤 私は、主人の仕事の関係で寒川に住居を構えました。のんびりしていてのどかな地です。自然豊かで緑が多く土地が平らなところが気に入り、子育てをするには良い環境だと思いました。

稲葉 制度的な豊かさではなく、生活環境すべて含めれば豊か、心の豊かさだったりということかもしれませんね。

山本 町民幸福度は高いかもしれませんね。

稲葉 人口変わらないんですよ、4万7～8千です。

山本 神奈川、東京にいるとよくわかりませんが、地方に行くと、今後20年で人口が3割減るところもたくさん出てきます。横ばいというのは魅力があるのかもしれませんね。住みやすいというメリットがあるのかもしれません。

齊藤 教育に関してですが、インクルーシブ教育^{※2}のあり方についてしっかりと考えていただきたいと思います。健常児と障がい児が一緒に育つということに壁を感じます。寒川町内には中学校3校、小学校5校あり、こじんまりまとまりやすい数です。教員の配属については障がい児教育の専門性を持った方に入っていただき、教職員の質の向上、育成をお願いしたいです。そして町内の児童、生徒の学力向上にも力を注いでほしいです。

災害時要支援の問題ですが、我が家も登録していますが、混乱の中での個人へのお願いはしにくいであろうと名前の記入はしませんでしたが、町内にハンディのある子供がいる事を知っておいてほしい、そして困った事には力を貸してほしいと思っています。なんといっても近所の方が一番よく分かっ



佐藤 敬

て下さっていると思っていますので、声掛けをしています。

山本 自分から打ち開けて声掛けしているのですか？

齊藤 子供が生まれてすぐからオープンにしています。何かあつたら助けてもらえるように。日頃よりあたたかく見守っていたい、声をかけてもらったりしています。

山本 齊藤さんがおっしゃったのが一つの鍵ですね。どんな人でも包み込むようなインクルーシブな地域社会がまだまだ少ないです。みんなに知ってもらい、みんなで助けるという、いざという時に支えあえる地域社会ができるかどうか。それには二つの側面があります。一つには、オープンにできるかどうか、頼むにはハードルがありますが、乗り越えるためにはオープンにする必要があります。またそれと同時に地域社会に理解があるかどうかですね。打ち開けやすい、受け入れやすいというのが鍵ですね。

小原 東京は人ととの結びつきが薄く、

 **小原 多香恵** 冷たいなど感じます。施設や技術が進化し多くの人が集まれる場所が増えた反面、SNS^{*3}の影響もあり個が確立しています。友達が東京で一人暮らしをしていますが、近所付き合いはないそうです。寒川では近所付き合いもあり、寒川に住んでいてよかったですなと思います。ただ子どもの数が減り、小学生時代に私の入っていた子ども会が今はなくなってしまいました。子ども会では学年を問わず仲良くなったり、下級生の面倒を見たりするのも勉強になるので大切だと思います。なくなってしまい残念です。

山本 SNSは自分が確立されていないと飲み込まれます。人は交流する時間と一人でゆっくり考える時間と両方必要です。小学生がLINE^{*4}を1日100通する例もあるように、交流していないと不安な状況に置かれているのでしょうか。

小原 「常につながっていない」という気持ちはあります。アメリカの心理学者が今の状況をツギヤザーアローン（together alone）と言っています^{*5}。つながっているけど、孤独を感じるという意味です。自分自身もそう感じます。

山本 個人主義は本来は相手も尊重し、自分も大切にすることです。今は個人主義ではなく、孤立化してしまったのかもしれませんね。個人が大切にされて尚かつ結びつくのが理想かなと思います。

何ができるのか、何をしたいか、 また社協への希望は

谷村 会社勤めをしていて、いざ定年になって地域の活動に入っていくのか正直自信はありません。日頃から地域消防団や自治会等の地域活動を活発に行なっている方は、きっと定年退職後すぐに溶け込めるのではと思います。

私も地域で何か役に立ちたいと思っていますが、いかに行動できるかだと思います。同じように自分が何か役に立てないだろうかという気持ちを持っている方をつないでいくことができるか。そして、孤立している方の叫びが聞こえない町にならないよう、自分が意識し、声が聞ける環境をどう作っていくか。声をあげられる環境も大切だと思います。

山本 ボラ連の取り組みでもできそうですか？

谷村 地域で何か役に立ちたいという気持ちをつなぐ間口を広げるためにボラ連でも活動していますが、加盟・会員の拡大にはつながっていないのが実態です。

社協への希望は、潜在的にボランティアをしたいという方とのつなぎ役にならいたいです。またすでにボランティアをしている方も違うボランティアもありますよといったようなつなぎです。

山本 男性が地域社会に参加するためには何が必要でしょうか？

谷村 当人の意識ではないでしょうか。定年の前段階で地域活動に関わりを持つこともポイントだと思います。定年してからさあ地域活動に入っていこうではハードルが高い気がします。ただ現役で地域活動に積極的に入っていくのも非常にエネルギーがいりますが。

山本 全体が高齢化しているから経済活動の対象も高齢化しています。ある企業では全員が認知症サポーターになりますという取り組みがありますけど、そういう理解した社員がいるということが企業のブランドイメージアップにもなってくる、顧客満足につながるという状況が出てきています。こういうことが日本社会に起きているようですがどうでしょう。

谷村 すばらしい取り組みだと思いますが、私の印象だと今のお話はかなり先進的な形だと思います。

山本 可能性はあると思いますか？

谷村 経済活動をしていくうえで、ブランドイメージを上げて顧客を広げていくという点は良いと思います。

三好 オフの時にも福祉を忘れないように、ボランティアをする機会を増やすことが重要だと思います。仕事の立場からは、町民全員に対する制度を広げること、災害時要援護者もその一環です。

山本 先ほど齊藤さんがおっしゃった、個人名を書くのは責任を覆いかぶせるよう苦しいので、地域全体で支えてもらえるような、そういうのが必要なんじゃないかというのはどうでしょうか？

三好 自分の障がい等をオープンにすることは重要だけど、したくない人もいます。行政としては、オープンにしない人も把握する必要があります。そこが悩んでいるところ



谷村 秀次

でもあります。自分からオープンにしやすい環境を作っていくなければなりません。

山本 高齢者、障がい者、いろいろな人がいて当たり前、インクルーシブな地域社会へという地域の理解促進のためにできることはありますか？

三好 自治会や民生委員が自分たちの役割だけやっているだけでは総合的な面で対処ができません。現在定例会等に自治会、民生委員、地域担当職員が一緒の会議に参加するようになってきています。自分自身が地域の現状をもっと知る必要があるし、行政側も立場に関係なく全員が地域の現状を知らないといけません。行政側が地域の声を聴く場を持たないといけません。

齊藤 書類を書く時にも、本人や家族がどんな助けを必要としているのか、そしてどう対応してくれるのかなど具体的に分かると登録しやすいと思います。



三好 今は紙だけで済ませてしまっているので、ちゃんと説明が必要ですね。

山本 宮城県気仙沼市役所では、全部署の職員が「地域ぐるみの支えあい」をテーマとして研修しました。部署がお互いつなり、わかりやすくしていくということが町民にとって重要なことです。

三好 社協に望むことは、活動している民生委員や自治会、ボランティアのつなぎ役になってほしいです。

佐藤 現在法人後見立ち上げに向けて検討しているところですが、法人後見事業もさることながら、その後見業務で得たノウハウを

いかに町民に伝えるか、また権利擁護に対する意識をいかに高めるか、意識啓発の部分についても取り組んでいかなければならぬと思っています。

山本 社協が法人後見を行っていく土台となる専門職、専門機関、ネットワークを町も含めて作ることが必要です。人を支えるネットワークには二つあります。一つは専門機関のネットワーク、二つ目は住民主体のネットワークです。権利擁護の面で両方必要です。成年後見が必要な状況でも、自宅・住み慣れた地域社会の中で暮らせる地域社会を作れるかどうかが課題です。法人全体、町全体で考えるべき大きなテーマだと思います。

稲葉 震災の後、日産工機労働組合で宮城県

 稲葉 康宏
の山元町へボランティアに行くことになりました、その企画をボランティアセンターで調整したのですが、社協の職員も一緒にと誘っていただき、私と佐藤さんで参加させていただきました。NASSの会が社協に参画していたから行くことができました。そしてそれが社協のボランティアバスへつながっていました。社協職員だけでは地域にばかり目がいってしまいます。いろいろな方々に参画いただくというのが社協本来のあるべき姿です。そういう方々が地域を構成していく要素であり、一緒にネットワーク作りをして、地域作りができるくるという大きな視点があります。社協という立場であるからこそ、いろいろな方、ボランティア団体に入ってもらえるのです。

谷村 2011年7月、労働組合活動として山元町に復興の支援に行きました。震災後、組合員からも何かできないかという声がありました。被災地が何を求めているのか、自分たちには何ができるのかがわからないので、社協に相談しました。これもボランティアをしていて社協とつながっていたから相談できたのです。そして社協の全国につながっ

ているネットワークがあるからこそボランティア活動が実現できました。

山本 東日本大震災へのボランティア活動には若い人がたくさん来ていました。町内の企業が、社協の立ち上げる災害ボランティアセンターの協力員になるというのが鍵になりますね。日産工機でいえば、社員全員が認知症サポーターになれば、企業のイメージも上がるし、つながっていきます。



稲葉 寒川町では、認知症サポーター運動を積極的に行っていこうと取り組んでいて、包括で講座を行っています。その実施割合は県内市町村で一位となっています。大人だけでなく町内中学三校で三年生に卒業時に実施して、すでに5年継続しています。

山本 福祉教育は社協の重要な役割です。子ども達は将来地域住民になっていくことを考えながら理解を深めていく。誰だって認知症や事故等で障がい者になる可能性があります。ただ講座を受けるのではなく、自分のこととして考えようということです。

社協は地域福祉の協議体です。すなわち地域の関係者がつながるということに役に立つ組織であり、そういう場を作るのが社協の役割です。

斎藤 教育は親が声をあげていかなければと思います。若い人のボランティアが少ないので、子育て、仕事でみな自分の時間がなく、60歳以上にならないと自由な時間がないのが現実だと思います。

保育ボランティアで赤ちゃんを抱っこし

ていると幸せな気分になります。ちょっとのお手伝いから幸せを分けてもらい、ハンディのある方のお手伝いでは私もがんばろうと前向きな気持ちにしてもらえます。多くの方にこのような体験をしてほしいなと思います。輪が広がっていくといいですね。

社協へお願いしたいことは、一つは若い人の育成です。子供たちは体験して初めて分かることなので、福祉教育を続けてほしいです。また、何か相談する事がないと社協との交わりがないので、社協とはどういう会なのかというアピールが必要だと思います。

男性が地域社会に参加しにくい問題については、男性参加の多い年2回の町全体で取り組む美化運動を活用してはどうでしょうか？美化運動後の井戸端会議的な近所同士のつながりから輪が作れるといいのではないでしょうか。

それから時代に合ったものを行っていくということですね。うちの子はサロンへ行っていますが、人数が減っています。昔は親子とも出でていく機会が少なく、サロンでボランティアの人が子どもを預かってくれたのがありがたかったですが、今ではいろいろなサービスが使えるようになり、サロンに求めるものが違ってきています。内容を改革していくということを行っていかなければと思います。また、子どもの学校卒業後の情報をもらう場として親の会等が必要になってくるのではと思います。

山本 親のつながりは本人同様大切ですね。時代に合った情報を親同士が交換できる、つながりの場があったらいいですね。

齊藤 親と子の集まりの場所を社協さんに提供していただきました。来月部屋を使わせていただく予定です。ハンディのある子を持つ親同士いろいろな情報交換ができる事を楽しみにしています。

山本 町でサロンのできるスペースのマップ化とかもいいですね。サロンは予防効果があります、親御さんも話し合う場がある

ということはお互い相談でき、気づけるということです。サロン活動は地域のつながり作りに重要なものです。少子高齢社会は高齢者ばかりがクローズアップされがちですが、子どもの話をお母さんたちが子育てしながら話せる場は重要です。



小原 大学生は自由な時間が多いです。授業・サークルのコアタイムを除けばあとの時間の使い方は本人次第です。でもその時間に最優先でボランティアに行こうとは考えません。実際にするボランティア活動もサークルの友達と『みんなで』ワイワイする感覚で、決して『私がしなければ』と言う『重い』ものではありません。まして何の情報も持っていない地元に帰って探すところからはしないので、『魅力的』な内容で、SNS等により情報が簡単に入手できればと思います。

社協に望むことは、土日に参加できる『ふれあいの場』を提供してほしいです。そこで寒川の良さを感じることが出来れば、たとえ都内に就職しても寒川に住み続けるかもしれません。

谷村 何かの会に入ってきっちりと拘束されるのはハードルが高いのかもしれませんね。今日は時間があるから半日でもボランティアしようかななど選べるといいですね。

山本 ボラ連もアイデアを出し合い、市内施設の協力も得ながら、バランス、組み合わせのマッチングができるかもしれないですね。

谷村 ニーズのある時に無理なく活動ができれば、よりいろいろな方に届くようになるんでしょうね。

浅野 いろいろなスタイルのボランティア活動があると良いですね。今日いただいたたくさんの話と、その期待に応えられるよう頑張っていきたいです。皆さんのお話が一つ一つ地域の中で形になっていけば、今以上に住みやすい寒川町が続いて行くのだと思います。皆さんの意見を社協はどうしていけるか、またそれをやってこそ地域の皆さんに信頼していただけると思います。

山本 寒川町では包括を社協がやっていて、地域福祉分野の活動もあるというのはとてもいい組み合わせです。専門的相談を受けながら、地域の力で解決していく、この組み合わせができていくかどうかが寒川町社協の一つの鍵になるでしょう。人の役に立ちたいという思いは誰でも持っています。役に立ちたい、助けてもらいたいという思いを、お互い思っている部分をうまくつなげていけたらいい。年齢に関係なく、自分でも何かしたいと思っている人はたくさんいます。そういう思いをうまくつなぎ合わせていける仕組みができたらとてもいいでしょう。



感想

谷村 皆さんの思いや意見を聞き、非常に有意義な時間でした。ボラ連の委員会で今日の報告をして活動に活かしていきたいです。

三好 高齢化に伴い、若い人が興味を持つよう社協のPRをし、ボランティアに興味を持つてもらえるようにしたいです。行政として、協力してやっていきたい。今日いろいろな意見を聞いて、その人の立場に立つ

という基本的なことを忘れてしまっていることを感じました。

佐藤 目の前の仕事をこなさなければならないという意識に駆られがちですが、改めて社協が目指さなければならない方向に立ち返ることが出来た良い機会でした。

稲葉 社協も変わらなくてはいけない。設立時は福祉は措置の時代でしたので、町の補助、行政の補助をしていれば存在していました。今は契約の時代で、町民の目線に立って町民の支援をしていくということですね。

齊藤 日ごろお会いすることのない方々からいろいろなお話を聞く事ができ、貴重な体験となりました。町民の一人として私に何ができるか常に考えていかなければと思います。

小原 大学生として町に興味・関心を持って考えるという有意義な時間をつくることが重要だと思いました。SNSでのボランティア宣伝が推進されることを期待しています。

浅野 地域の方々に「社協があつてよかったです」と思っていただける場面が増えるようにしていきたいです。

山本 社協は協議体ですから、地域福祉のことを話す場です。場作り、つながり作りをしていくことが必要です。それぞれ自分ができることを持ち寄るとか、みんながそれぞれの立場の役割があるという地域社会を目指すのが社協の役割です。若い人でも年老いている人でも、認知症、障がいのある人もみんなが役割を發揮、参加できる地域社会に寒川町がなったらしいと思います。

*1 インクルージョン

すべての人々を社会の構成員として包み支え合うという理念

*2 インクルーシブ教育

障がいの有無によらず、誰もが地域の学校で学べる教育

*3 SNS

ソーシャル・ネットワーキング・サービス

インターネット上の交流を通して社会的ネットワークを構築するサービスのこと

*4 LINE

スマートフォンでいつでも、どこでも、無料で好きなだけ通話やメールができる情報伝達プログラム

*5 文獻

マサチューセッツ工科大学教授、Sherry Turkle著
『Alone Together』

会員・会費額の推移

会費は、社会福祉協議会のもっとも重要な自主財源として、事業の経営を支えています。

また、民間組織にふさわしい活気ある運営と事業の推進を可能にする上でも重要な意味を持つものであります。本社会福祉協議会は昭和59年の法人化を契機として、全戸会員制度、企業会員制度（賛助会員）を導入し、自主財源の確保に努めていますが、この会員制も社会福祉への住民参加の一形態といえます。

会費は、一般会員1口500円(平成2年度まで300円)、賛助会員1口3,000円です。

会員数・会費額の推移

	一般会員 (口)	賛助会員 (口)	合計 (口)	会費額 (千円)
昭和59年度	8,931	195	9,126	3,264
昭和63年度	10,757	290	11,047	4,097
平成5年度	12,027	301	12,328	6,916
平成10年度	12,423	555	12,978	7,877
平成15年度	12,137	599	12,736	7,866
平成16年度	12,155	571	12,726	7,792
平成17年度	12,118	560	12,768	7,739
平成18年度	12,174	556	12,730	7,757
平成19年度	12,363	533	12,896	7,779
平成20年度	12,249	477	12,726	7,557
平成21年度	12,215	462	12,677	7,494
平成22年度	11,994	445	12,439	7,333
平成23年度	12,029	436	12,465	7,323
平成24年度	11,901	446	12,347	7,289
平成25年度	11,725	433	12,158	7,162

会員の募集は、年間を通じて行っていますが、毎年新年度に各自治会のご協力をいただいて集中的に社会福祉協議会のPRと会員募集、会費の収納を行っています。

財政の推移

社会福祉協議会は、地域福祉の推進を図ることを目的とした民間団体です。町民の皆様や団体・企業などに会員になっていただき、地域の人々や行政機関、保健、医療、福祉等との連携を図りながら公的な施策だけでは対応しきれない福祉の課題に取り組んでいます。

民間社会福祉団体として社会福祉協議会が、地域福祉事業を推進し、運営していくための基本的財源は、善意ある皆さんから寄せられる会費や寄附金、収益事業収入、共同募金配分金などの自主財源と補助金、委託金などの公費補助によって支えられています。

一般会計・特別会計決算額の推移

	一般会計		収益事業	
	歳入	歳出	歳入	歳出
平成16年度	156,517,139	162,231,979	1,839,727	1,839,588
平成17年度	149,074,368	148,941,692	1,969,590	1,969,460
平成18年度	150,393,974	148,482,874	1,922,354	1,921,905
平成19年度	138,248,576	140,492,375	2,653,476	2,653,225
平成20年度	120,698,840	121,400,442	2,800,010	2,799,142
平成21年度	111,672,407	113,123,426	3,867,622	3,775,868
平成22年度	126,913,669	128,060,679	3,895,413	3,833,293
平成23年度	124,934,906	123,462,832	3,877,247	3,833,501
平成24年度	152,660,456	153,630,566	4,310,392	4,488,958
平成25年度	119,213,195	117,870,067	3,755,652	3,769,880

基金保有額の推移

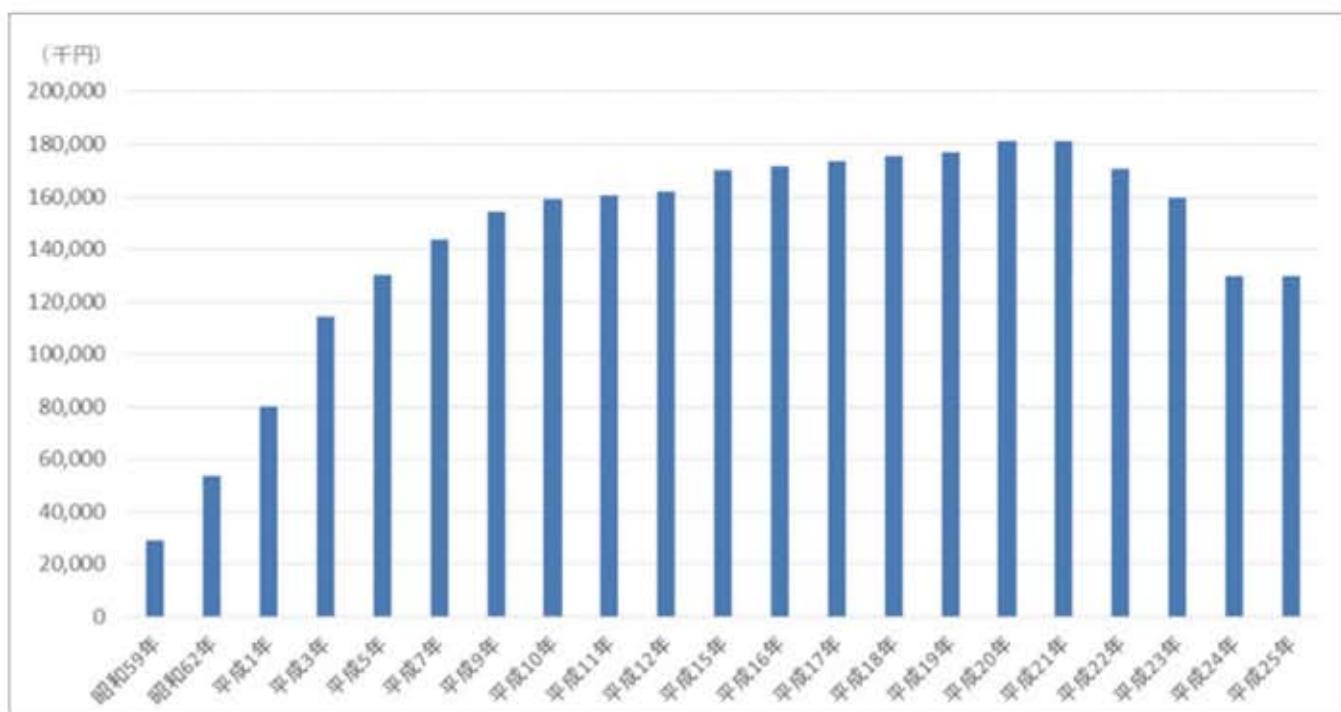
社会福祉協議会では、昭和59年度に民間社会福祉事業の振興を目的に社会福祉基金を、また、平成25年度には、基金のあり方を検討し福祉基金・拠点施設整備事業基金・災害対策準備基金の3つの基金として創設以来、たくさんの方々の善意によって積み立てられてきました。

この基金は、昭和59年度、29,236,827円であったものが、30年後の平成25年度末には129,577,000円の保有額になりました。

なお、チャリティーゴルフの収益金をはじめ、チャリティー音楽祭、店先に募金箱を設置し定期的に届けてくれる商店の方など、それぞれの方ができる範囲で、ちょっとした機会を利用してお金をを集められています。

このような寄附金は、一人ひとりの善意が、基金を大きく育てるための大切な原資です。

社会福祉基金の推移



各種相談・サービスの推移

区分	心配ごと	住宅改修	生活健康	窓口相談	福祉機器の貸出	
	相談	相談	相談		車いす	その他の機器
平成16年度	21	23	278	1,568	45	
平成17年度	28	21	292	1,454	63	
平成18年度	23	14	250	2,401	67	
平成19年度	15	6	226	2,338	92	
平成20年度	11		177	2,713	102	35
平成21年度	21			816	86	14
平成22年度	13			968	99	25
平成23年度	16			904	100	23
平成24年度	13			1,059	67	103
平成25年度	17			2,026	122	98

(件数)

区分	紙おむつの助成		生活福祉資金		緊急援護資金の貸付	行路者等援護支給
	障害	高齢	相談	貸付		
平成16年度	22	140	57	2	85	13
平成17年度	35	122	91	0	65	13
平成18年度	33	108	33	2	64	12
平成19年度	43	110	126	1	66	2
平成20年度	72	122	2	0	41	9
平成21年度	83	127	21	19	75	5
平成22年度	81	149	344	37	81	4
平成23年度	78	130	190	17	85	5
平成24年度	68	151	216	19	44	13
平成25年度	64	163	396	8	36	2

小地域福祉活動事業の状況

自治会名	開始年度	運営主体	開催頻度	事業の概要
新町自治会	平成11年度～	自治会役員 ボランティア	月1回	お花見・介護保険セミナー・健 康体操・貼り絵・防災の話など
岡田東・西自治会	平成12年度～	自治会役員 ボランティア	月1回	お花見・血圧測定・輪投げ・ 映画・あやとり・お手玉など
田端自治会	平成13年度～	老人クラブ ボランティア	月1回	お花見・血圧測定・映画・かく し芸・bingo・健康の講和など
県住第2自治会	平成13年度～	各種サークル ボランティア	月1回	将棋・体操・卓球・手芸・カラ オケ・ハイキング・出前講座な ど
中瀬自治会	平成15年度～	自治会役員 ボランティア	2か月 1回	骨密度測定・施設見学・カラオ ケ・フラダンス・フラワー教室 など
筒井自治会	平成16年度～	自治会役員 ボランティア	月1回	健康講演会・ラジオ体操・親睦 行事・年度末食事会など
一之宮連合自治会 (一之宮北第1・第2) (一之宮東・西)	平成16年度～	自治会役員 ボランティア	月1回	演芸大会・医療セミナー・カラ オケ・映画鑑賞会・健康体操・ 温泉旅行など
大蔵自治会	平成17年度～	自治会役員 ボランティア	月1回	小旅行・毎月ゲートボールなど
小谷自治会	平成17年度～	自治会役員 ボランティア	月1回	カラオケ・ポール体操・子ども みまもり隊・大収穫祭・お喜楽 サークルなど
菅谷台自治会	平成18年度～	自治会役員 ボランティア	月1回	頭の体操・DVD鑑賞・ゲーム 折り紙・フラワーアレンジメン トなど
小動自治会	平成18年度～	自治会役員 ボランティア	月1回	バス旅行・物故祭・親睦会・体 操など
越の山自治会	平成19年度～	自治会役員 ボランティア	月1回	サロン・ヤングハート 買い物 支援など
一之宮ソフィア 自治会	平成20年度～	自治会役員 ボランティア	月1回	お茶会・七夕づくり・納涼祭・ 旅行・ひな祭りなど
倉見自治会	平成24年度～	自治会役員 ボランティア	月1回	万華鏡作り・詐欺講話・マジック ・フラダンス・コーラスなど
大曲自治会	平成26年度～	自治会役員 ボランティア	月2回	盆踊り・スポーツ大会・防災訓 練・健康体操・カラオケなど

地域包括支援センター

平成17年の介護保険法改正で定められた地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う機関として位置付けられたのが地域包括支援センターです。

寒川町地域包括支援センターには、保健師、主任ケアマネジャー、社会福祉士を置き、専門性を生かして相互連携しながら業務にあたり、介護予防の相談、サービス利用の調整等高齢者が出来る限り住み慣れた地域で安心して生活していくよう支援を行い、町民により身近な窓口として平成18年から運営しております。

また、地域福祉の推進を目指す支援センターでは認知症サポーター養成講座等を各自治会等へ出かけ啓発を行っています。



町役場1階受付



包括支援センター



認知症サポーター養成講座

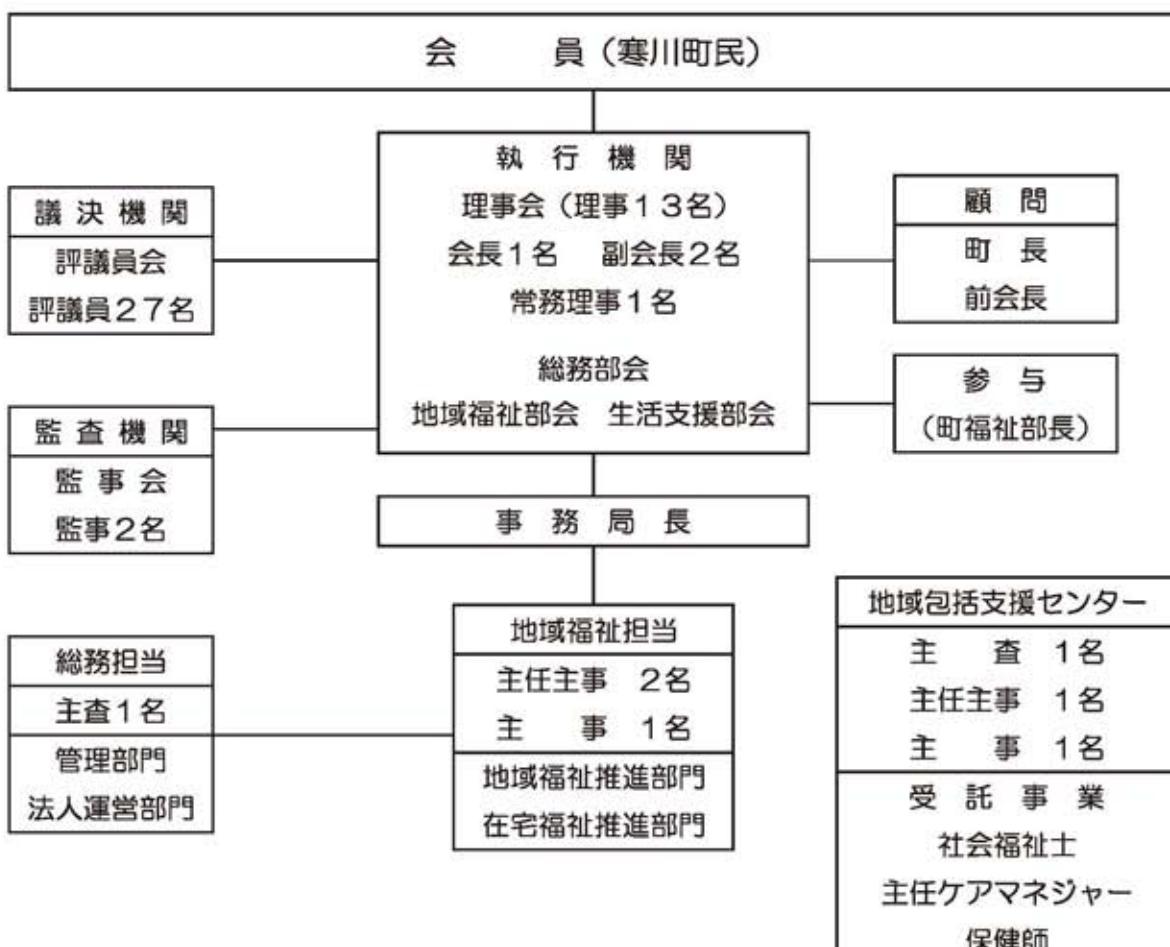
地域包括支援センターの利用推移

年 度	相談件数	訪問相談 件 数	プラン作成数	プランに関わる 訪問件数
平成18年度	864	72	230	920
平成19年度	2,378	76	243	972
平成20年度	2,395	173	1,695	1,552
平成21年度	2,574	102	1,718	1,207
平成22年度	2,992	340	1,982	1,294
平成23年度	2,779	333	2,125	1,245
平成24年度	3,046	214	2,259	1,002
平成25年度	2,904	244	2,334	1,001

寒川町社会福祉協議会の組織

寒川町社会福祉協議会は、住民の皆さんをはじめ行政、保健・福祉の関係者等と協力して福祉のまちづくりを進めるため、町内団体の代表者が理事、監事、評議員として運営にあたっています。

平成26年10月1日現在



職員数	事務局長 (非常勤)	総務担当	専任職員1名	非常勤職員1名	臨時職員1名
		地域福祉担当	専任職員3名	非常勤職員2名	臨時職員3名
		包括支援センター	専任職員3名	非常勤職員2名	臨時職員1名
合 計		7名	5名	5名	

歴代役員の紹介

■設立当初の役員

職名	氏名	職名	氏名
会長	小島光男	理事	河西史郎
副会長	三沢祐一	"	青木勝次
"	皆川俊一	"	原田和代
理事	野々山周彦	"	脇清
"	高橋博	"	菊地孝一
"	石黒光	"	小菅義雄
"	宇田川進	監事	栗田登
"	栗田俊一	"	北村嘉久
"	佐藤多計子	"	成瀬江之守

■昭和59年度～昭和61年度

職名	氏名	在任期間	職名	氏名	在任期間
会長	小島光男	59. 8. 9～61. 8. 8	理事	三留宗吉	61. 4. 28～61. 8. 8
副会長	三沢祐一	"	"	野々山周彦	59. 8. 9～61. 8. 8
"	皆川俊一	"	"	佐藤多計子	"
理事	菊地孝一	"	"	河西史郎	"
"	脇清	59. 8. 9～60. 4. 29	"	入沢甚策	59. 8. 9～60. 3. 13
"	佐藤正好	60. 4. 30～61. 4. 27	"	三沢喜久夫	60. 3. 14～61. 3. 17
"	栗原義雄	61. 4. 28～61. 8. 8	"	斎藤正雄	61. 3. 18～61. 8. 8
"	栗田俊一	59. 8. 9～61. 8. 8	"	小菅義雄	59. 8. 9～61. 8. 8
"	鈴木英夫	59. 8. 9～61. 4. 27	"	原田和代	"
"	渋谷敏	61. 4. 28～61. 8. 8	監事	栗田登	59. 8. 9～61. 8. 8
"	高橋博	59. 8. 9～61. 8. 8	"	北村嘉久	"
"	石黒光	59. 8. 9～61. 4. 27	"	成瀬江之守	"

■昭和61年度～昭和63年度

職名	氏名	在任期間	職名	氏名	在任期間
会長	小島光男	61. 8. 9～63. 8. 8	理事	木内一郎	63. 5. 25～63. 8. 8
副会長	三沢祐一	"	"	大塚かず子	61. 8. 9～63. 8. 8
"	皆川俊一	61. 8. 9～61. 12. 16	"	菊地マチ子	"
"	栗田俊一	61. 12. 24～63. 8. 8	"	木村清三	"
理事	辻井良一	61. 8. 9～63. 8. 8	"	斎藤正雄	61. 8. 9～62. 3. 12
"	栗原義雄	61. 8. 9～62. 5. 5	"	朝倉武久	62. 3. 13～63. 8. 8
"	大久保嘉幸	62. 5. 6～63. 8. 8	"	小菅義雄	61. 8. 9～63. 8. 8
"	栗田俊一	61. 8. 9～61. 12. 23	"	橋本悦子	"
"	木村完子	61. 12. 17～63. 8. 8	監事	栗田登	61. 8. 9～63. 8. 8
"	登原由子	61. 8. 9～63. 8. 8	"	北村嘉久	61. 8. 9～61. 12. 16
"	高橋博	"	"	小島輝明	61. 12. 17～63. 8. 8
"	藤澤竹藏	61. 8. 9～63. 5. 24	"	成瀬江之守	61. 8. 9～63. 8. 8

■昭和63年度～平成2年度

職名	氏名	在任期間	職名	氏名	在任期間
会長	小島光男	63.8.9～2.8.8	理事	広田一男	63.8.9～2.8.8
副会長	三沢祐一	〃	〃	大西洋子	63.8.9～2.5.15
〃	栗田俊一	〃	〃	小泉登代子	2.5.16～2.8.8
理事	大久保嘉幸	63.8.9～2.8.8	〃	朝倉武久	63.8.9～1.3.21
〃	辻井良一	63.8.9～1.5.28	〃	小沢完吉	1.3.22～2.8.8
〃	菊地孝一	1.5.29～2.8.8	〃	入沢栄一	63.8.9～2.5.27
〃	木村完子	63.8.9～2.8.8	〃	三上昇	2.5.28～2.8.8
〃	桜田育男	〃	〃	橋本悦子	63.8.9～2.8.8
〃	高橋博	〃	監事	栗田登	63.8.9～2.8.8
〃	大塚かず子	〃	〃	小島輝明	〃
〃	木内一郎	〃	〃	成瀬江之守	〃

■平成2年度～平成4年度

職名	氏名	在任期間	職名	氏名	在任期間
会長	小島光男	2.8.9～4.8.8	理事	五島恵津子	3.5.18～4.8.8
副会長	三沢祐一	〃	〃	広田一男	2.8.9～4.8.8
〃	栗田俊一	2.8.9～4.3.20	〃	小泉登代子	2.8.9～3.5.17
〃	小島輝明	4.3.21～4.8.8	〃	鈴木一江	3.5.18～4.8.8
理事	大久保嘉幸	2.8.9～4.5.15	〃	小沢完吉	2.8.9～3.3.22
〃	宮原實	4.5.16～4.8.8	〃	菊地良夫	3.3.23～4.8.8
〃	小泉市郎	2.8.9～3.10.3	〃	橋本悦子	2.8.9～4.8.8
〃	露木一吉	3.10.4～4.8.8	参与	三上昇	〃
〃	木村完子	2.8.9～4.8.8	監事	栗田登	2.8.9～4.5.15
〃	白田キミ	〃	〃	三留利明	4.5.16～4.8.8
〃	高橋勇治	〃	〃	小島輝明	2.8.9～4.3.20
〃	大西洋子	〃	〃	栗田俊一	4.3.21～4.8.8
〃	木内一郎	〃	〃	成瀬江之守	2.8.9～4.8.8
〃	阿部京子	2.8.9～3.5.17			

■平成4年度～平成6年度

職名	氏名	在任期間	職名	氏名	在任期間
会長	三沢祐一	4.8.9～6.8.8	理事	寺本波津子	4.8.9～6.8.8
副会長	露木一吉	〃	〃	佐藤多計子	〃
〃	小島輝明	4.8.9～4.12.2	〃	小沢完吉	4.8.9～5.3.4
〃	小野間誠	4.12.3～6.8.8	〃	朝倉武久	5.3.5～6.8.8
常務理事	白井純之助	4.8.9～6.8.8	〃	小島光男	4.8.9～6.7.5
理事	宮原實	4.8.9～4.5.20	〃	橋本悦子	4.8.9～6.8.8
〃	辻井良一	5.5.21～6.8.8	参与	三上昇	〃
〃	木村完子	4.8.9～6.8.8	監事	三留利明	〃
〃	山下美智子	〃	〃	栗田俊一	4.8.9～4.12.2
〃	山口義隆	〃	〃	小島輝明	4.12.3～6.8.8
〃	大西洋子	〃	〃	成瀬江之守	4.8.9～6.8.8
〃	広田一男	〃			

■平成6年度～平成8年度

職名	氏名	在任期間	職名	氏名	在任期間
会長	三沢祐一	6. 8. 9～8. 8. 8	理事	中村節子	6. 8. 9～8. 8. 8
副会長	露木一吉	〃	〃	朝倉武久	6. 8. 9～7. 3.16
〃	小野間誠	6. 8. 9～7. 12.14	〃	栗田俊一	6. 8. 9～8. 8. 8
	鈴木政勝	7. 12.15～8. 8. 8	〃	佐藤多計子	〃
常務理事	臼井純之助	6. 8. 9～8. 8. 8	〃	金子匡	7. 3.17～8. 8. 8
理事	辻井良一	〃	〃	藤井喜代治	7. 12.15～8. 8. 8
〃	木村完子	6. 8. 9～7. 12.14	参与	三上昇	6. 8. 9～8. 8. 8
〃	小菅義雄	6. 8. 9～8. 8. 8	監事	三留利明	6. 8. 9～7. 9. 7
〃	浜崎千代子	〃	〃	小島輝明	6. 8. 9～7. 12.14
〃	大川義雄	〃	〃	樋口幸三	6. 8. 9～8. 8. 8
〃	寺本波津子	〃	〃	高橋勉	7. 9. 8～8. 8. 8
〃	広田一男	〃	〃	関澤千鶴子	7. 12.15～8. 8. 8

■平成8年度～平成10年度

職名	氏名	在任期間	職名	氏名	在任期間
会長	露木一吉	8. 8. 9～9. 6.19	理事	寺本波津子	8. 8. 9～10. 8. 8
〃	若林孝治	9. 6.20～10. 8. 8	〃	矢野淳子	〃
副会長	辻井良一	8. 8. 9～10. 8. 8	〃	金子匡	8. 8. 9～9. 5.15
〃	鈴木政勝	〃	〃	佐藤多計子	8. 8. 9～10. 8. 8
常務理事	臼井純之助	8. 8. 9～9. 3.31	〃	小菅義雄	〃
〃	三上昇	9. 5.16～10. 8. 8	〃	朝倉武久	9. 5.16～10. 8. 8
理事	鉢巻久子	8. 8. 9～10. 8. 8	顧問	三沢祐一	8. 8. 9～10. 8. 8
〃	藤井喜代治	〃	参与	三上昇	8. 8. 9～9. 3.31
〃	小村裕	〃	〃	川島遼	9. 4. 1～10. 8. 8
〃	北村嘉久	〃	監事	高橋勉	8. 8. 9～10. 8. 8
〃	高橋勇治	〃	〃	関澤千鶴子	〃
〃	広田一男	〃	〃	樋口幸三	〃

■平成10年度～平成12年度

職名	氏名	在任期間	職名	氏名	在任期間
会長	若林孝治	10. 8. 9～12. 8. 8	理事	横溝義則	10. 8. 9～12. 8. 8
副会長	高橋勉	〃	〃	入澤章	10. 12. 11～12. 8. 8
〃	藤井喜代治	〃	〃	前嶋笑子	11. 5.21～12. 8. 8
常務理事	三上昇	〃	〃	白田キミ	11. 5.21～12. 5.18
理事	辻井良一	〃	〃	木下学	11. 5.21～11. 7.15
〃	鈴木政勝	10. 8. 9～10. 12.10	〃	飛石靖利	11. 7.16～12. 8. 8
〃	齊藤志津加	10. 8. 9～12. 8. 8	〃	宮治友美枝	12. 5.19～12. 8. 8
〃	齊藤吉照	〃	顧問	三沢祐一	10. 8. 9～12. 8. 8
〃	石黒邦子	〃	参与	川島遼	〃
〃	広田一男	〃	監事	倉本武	10. 8. 9～11. 5.20
〃	寺本波津子	10. 8. 9～11. 5.20	〃	関澤千鶴子	10. 8. 9～10. 12.10
〃	小島マス子	〃	〃	樋口幸三	10. 8. 9～12. 8. 8
〃	朝倉武久	〃	〃	小嶋政幸	10. 12. 11～12. 8. 8
〃	佐藤多計子	10. 8. 9～12. 8. 8	〃	小菅義雄	11. 5.21～12. 8. 8

■平成12年度～平成14年度

職名	氏名	在任期間	職名	氏名	在任期間
会長	若林 孝治	12. 8. 9～14. 8. 8	理事	飛石 靖利	12. 8. 9～14. 8. 8
副会長	高橋 勉	12. 8. 9～14. 5. 16	"	関澤 千鶴子	"
"	藤井 喜代治	12. 8. 9～14. 8. 8	"	菊地 孝一	"
"	辻井 良一	14. 5. 17～14. 8. 8	"	福田 康廣	13. 5. 18～14. 5. 16
常務理事	三上 昇	12. 8. 9～13. 3. 31	"	小菅 義雄	14. 5. 17～14. 8. 8
"	三澤 正巳	13. 5. 18～14. 8. 8	"	江藤 恵子	"
理事	辻井 良一	12. 8. 9～14. 5. 16	顧問	三沢 祐一	12. 8. 9～14. 3
"	入澤 章	12. 8. 9～14. 8. 8	参与	川島 還	12. 8. 9～14. 3. 31
"	鈴木 修	"	"	對馬 清一	14. 4. 1～14. 8. 8
"	斎藤 吉照	"	監事	小菅 義雄	12. 8. 9～14. 5. 16
"	笛井 百合子	"	"	小嶋 政幸	12. 8. 9～14. 3. 17
"	山上 喜孝	"	"	樋口 幸三	12. 8. 9～14. 8. 8
"	前嶋 笑子	"	"	中澤 章吉	14. 3. 18～14. 8. 8
"	宮治 友美枝	12. 8. 9～13. 5. 18	"	亀山 公夫	14. 5. 17～14. 8. 8

■平成14年度～平成16年度

職名	氏名	在任期間	職名	氏名	在任期間
会長	若林 孝治	14. 8. 9～16. 8. 8	理事	若菜 美代子	15. 2. 21～16. 8. 8
副会長	辻井 良一	"	"	小泉 和江	15. 5. 16～16. 5. 20
"	藤井 喜代治	"	"	斎藤 恒雄	15. 5. 16～16. 8. 8
常務理事	三澤 正巳	"	"	亀山 公夫	16. 5. 21～16. 8. 8
理事	小菅 義雄	14. 8. 9～16. 5. 20	"	飛弾 恭子	"
"	入澤 章	14. 8. 9～16. 8. 8	顧問	山田 文夫	15. 8. 19～16. 8. 8
"	鈴木 修	"	参与	對馬 清一	14. 8. 9～16. 8. 8
"	笛井 百合子	14. 8. 9～15. 2. 20	監事	亀山 公夫	14. 8. 9～16. 5. 20
"	前嶋 笑子	14. 8. 9～16. 8. 8	"	中澤 章吉	14. 8. 9～16. 8. 8
"	江藤 恵子	14. 8. 9～15. 5. 15	"	露木 實	"
"	飛石 靖利	"	"	藤岡 幸子	16. 5. 21～16. 8. 8
"	小嶋 政幸	14. 8. 9～16. 8. 8			

■平成16年度～18年度

職名	氏名	在任期間	職名	氏名	在任期間
会長	栗田俊一	16. 8. 9～18. 8. 8	評議員	桐原みさ子	16. 8. 2～18. 8. 1
副会長	辻井良一	16. 8. 9～18. 5. 18	"	小澤美江	"
"	亀山公夫	18. 5. 19～18. 8. 8	"	牧田淳一	"
"	藤井喜代治	16. 8. 9～18. 8. 8	"	吉田博國	"
常務理事	三澤正巳	16. 8. 9～17. 3. 31	"	前嶋笑子	"
"	飯田信雄	17. 4. 1～18. 8. 8	"	菊地義幸	"
理事	亀山公夫	16. 8. 9～18. 5. 18	"	内糸真人	16. 8. 2～18. 3. 1
"	入澤章	16. 8. 9～16. 12. 16	"	三澤恵一	16. 8. 2～18. 8. 1
"	鈴木修	16. 8. 9～18. 8. 8	"	菊地良夫	16. 8. 2～18. 5. 18
"	若菜美代子	"	"	飯田哲朗	16. 8. 2～17. 9. 28
"	藤澤昇	"	"	高橋悟	16. 8. 2～17. 5. 15
"	飛弾恭子	16. 8. 9～17. 5. 19	"	竹内良子	16. 8. 2～16. 12. 8
"	"	18. 5. 19～18. 8. 8	"	奥田照男	"
"	斎藤恒雄	16. 8. 9～17. 5. 19	"	入村一夫	"
"	小嶋政幸	16. 8. 9～18. 8. 8	"	井上三郎	"
"	古尾谷久枝	16. 12. 17～18. 8. 8	"	三上よし子	"
"	鈴木敦子	17. 5. 20～18. 5. 18	"	岡本よしの	16. 12. 9～18. 8. 1
"	黒沢善行	17. 5. 20～18. 8. 8	"	石塚美智子	"
"	藤岡幸子	18. 5. 19～18. 8. 8	"	佐藤稔	"
顧問	山田文夫	16. 8. 9～18. 8. 8	"	入澤司郎	"
"	若林孝治	"	"	井上清	"
参与	對馬清一	16. 8. 9～17. 3. 31	"	藤田清志	17. 5. 16～18. 5. 18
"	須藤武	17. 4. 1～18. 8. 8	"	岩佐裕一	"
監事	藤岡幸子	16. 8. 9～18. 5. 18	"	藤川十七吉	17. 5. 16～18. 8. 1
"	中澤章吉	16. 8. 9～16. 12. 16	"	末吉進	"
"	山田正紘	16. 8. 9～18. 8. 8	"	吉田鏡也	17. 5. 16～18. 5. 18
"	入村一夫	16. 12. 17～18. 8. 8	"	肥後文江	17. 5. 16～18. 8. 1
"	菊地良夫	18. 5. 19～18. 8. 8	"	田中誠一	17. 5. 16～18. 5. 18
評議員	三浦修	16. 8. 2～17. 5. 15	"	浜田省三	"
"	猿渡修悟	"	"	三留喜久男	17. 5. 16～18. 8. 1
"	朝倉武久	16. 8. 2～18. 8. 1	"	村松一	17. 9. 29～18. 8. 1
"	比留間實	16. 8. 2～17. 5. 15	"	石塚義則	18. 3. 2～18. 8. 1
"	柴田朝光	"	"	佐藤藤男	18. 5. 19～18. 8. 1
"	阿部幹男	16. 8. 2～18. 5. 18	"	吉田勉	"
"	関根晃	16. 8. 2～17. 5. 15	"	市川文武	"
"	渡辺豊	"	"	金子明	"
"	笠井守	"	"	佐藤信	"
"	古郡静雄	"	"	藤沢敏夫	"

■平成18年度～20年度

職名	氏名	在任期間	職名	氏名	在任期間
会長	木村 勇	18. 8. 9～20. 8. 8	評議員	藤沢 敏夫	18. 8. 2～19. 5. 17
副会長	亀山 公夫	18. 8. 9～19. 5. 17	"	岡本 よしの	18. 8. 2～19. 12. 6
"	菊地 良夫	19. 5. 18～20. 8. 8	"	石塚 美智子	18. 8. 2～20. 8. 1
"	藤井 喜代治	18. 8. 9～19. 12. 20	"	関根 晃	18. 8. 2～19. 12. 6
"	入村 一夫	19. 12. 21～20. 8. 8	"	入澤 司郎	18. 8. 2～20. 8. 1
常務理事	飯田 信雄	18. 8. 9～20. 3. 31	"	井上 清	18. 8. 2～19. 12. 6
"	常盤 悅夫	20. 4. 1～20. 8. 8	"	佐藤 さなえ	18. 8. 2～20. 8. 1
理事	藤岡 幸子	18. 8. 9～20. 8. 8	"	志賀谷 弥一郎	"
"	藤井 喜代治	19. 12. 21～20. 8. 8	"	小菅 義雄	"
"	古尾谷 久枝	18. 8. 9～19. 12. 20	"	吉田 博國	"
"	鈴木 修	18. 8. 9～20. 8. 8	"	田中 利次	"
"	大西 洋子	"	"	菊地 義幸	18. 8. 2～20. 5. 15
"	前嶋 笑子	"	"	石塚 義則	18. 8. 2～20. 8. 1
"	飛弾 恭子	"	"	宇田川 貞子	"
"	黒沢 善行	18. 8. 9～19. 5. 17	"	渡邊 一三	"
"	小嶋 政幸	18. 8. 9～20. 8. 8	"	村松 正喜	"
"	藤澤 輝夫	19. 5. 18～20. 8. 8	"	三留 喜久男	18. 8. 2～19. 5. 17
顧問	山田 文夫	18. 8. 9～19. 9. 10	"	菊地 和夫	19. 5. 18～20. 5. 15
"	山上 貞夫	19. 9. 11～20. 8. 8	"	広田 佐和子	"
"	栗田 俊一	18. 8. 9～20. 8. 8	"	渡邊 真三郎	19. 5. 18～20. 8. 1
参与	須藤 武	18. 8. 9～19. 3. 31	"	森川 美知子	"
"	和田 広道	19. 4. 1～20. 8. 8	"	木村 義秋	"
監事	菊地 良夫	18. 8. 9～19. 5. 17	"	岡崎 昭志	"
"	入村 一夫	18. 8. 9～19. 12. 20	"	菅野 節子	"
"	吉田 政明	18. 8. 9～20. 8. 8	"	若林 隆	19. 5. 18～20. 5. 15
"	朝倉 武久	19. 5. 18～20. 5. 15	"	清水 進	"
"	古尾谷 久枝	19. 12. 21～20. 8. 8	"	森 一光	"
"	三留 利明	20. 5. 16～20. 8. 8	"	舛水 勝壽	19. 12. 7～20. 8. 1
評議員	佐藤 藤男	18. 8. 2～19. 5. 17	"	能條 弘子	"
"	吉田 勉	"	"	池田 豊松	"
"	朝倉 武久	"	"	石黒 久雄	20. 5. 16～20. 8. 1
"	藤川 十七吉	"	"	関根 順臣	"
"	市川 文武	"	"	菊地 守	"
"	肥後 文江	"	"	亀山 直平	"
"	金子 明	"	"	入沢 博夫	"
"	末吉 進	"	"	山仲 功	"
"	佐藤 信	18. 8. 2～20. 8. 1			

■平成20年度～22年度

職名	氏名	在任期間	職名	氏名	在任期間
会長	木村 勇	20. 8. 9～22. 8. 8	評議員	亀山 直平	20. 8. 2～21. 5. 18
副会長	菊地 良夫	20. 8. 9～21. 5. 18	"	石塚 美智子	20. 8. 2～22. 8. 1
"	藤岡 幸子	21. 5. 19～22. 5. 17	"	入澤 司郎	"
"	斎藤 正信	22. 5. 18～22. 8. 8	"	舛水 勝壽	"
"	入村 一夫	20. 8. 9～22. 8. 8	"	能條 弘子	"
常務理事	常盤 悅夫	20. 8. 9～22. 3. 31	"	池田 豊松	"
"	木村 俊雄	22. 4. 1～22. 8. 8	"	岡本 政江	"
理事	藤岡 幸子	20. 8. 9～21. 5. 18	"	露木 實	20. 8. 2～21. 9. 24
"	三留 利明	20. 8. 9～22. 5. 20	"	小菅 義雄	20. 8. 2～22. 5. 17
"	藤井 喜代治	20. 8. 9～22. 8. 8	"	村田 八千雄	20. 8. 2～22. 8. 1
"	鈴木 修	"	"	西山 百合子	"
"	大西洋 子	"	"	入沢 博夫	20. 8. 2～22. 5. 17
"	飛弾 恭子	"	"	石塚 義則	20. 8. 2～22. 8. 1
"	田中 利次	20. 8. 9～21. 5. 21	"	山萬 紀一	"
"	藤澤 輝夫	20. 8. 9～21. 3. 18	"	磯川 浩	"
"	小嶋 政幸	20. 8. 9～22. 8. 8	"	山上 貞人	"
"	杉崎 隆之	21. 3. 19～22. 8. 8	"	山仲 功	20. 8. 2～21. 5. 18
"	村松 正喜	21. 5. 22～22. 8. 8	"	大曾根 洋一	21. 5. 19～22. 5. 17
"	斎藤 正信	21. 5. 22～22. 5. 17	"	羽廣 哲雄	"
"	熊澤 茂	22. 5. 21～22. 8. 8	"	玉木 光男	"
"	右城 栄一	"	"	熊澤 茂	"
顧問	山上 貞夫	20. 8. 9～22. 8. 8	"	右城 栄一	"
"	栗田 俊一	"	"	高橋 政雄	"
参与	和田 広道	20. 8. 9～21. 3. 31	"	井上 隆男	"
"	菊川 雅男	21. 4. 1～22. 3. 31	"	杉原 代美子	21. 5. 19～22. 8. 1
"	木内 正幸	22. 4. 1～22. 8. 8	"	小島 研二	"
監事	古尾谷 久枝	20. 8. 9～22. 8. 8	"	大久保 俊夫	21. 9. 25～22. 8. 1
"	吉田 政明	"	"	大川 寿一	22. 5. 18～22. 8. 1
評議員	石黒 久雄	20. 8. 2～22. 5. 17	"	三留 寿一	"
"	関 隆臣	20. 8. 2～21. 5. 18	"	平野 倍男	"
"	渡邊 真三郎	"	"	日尾 政喜	"
"	森川 美知子	20. 8. 2～22. 8. 1	"	伊藤 孝雄	"
"	木村 義秋	20. 8. 2～21. 5. 18	"	奥津 肇	"
"	岡崎 昭志	"	"	宇田川 保男	"
"	佐藤 信	"	"	西山 正彦	"
"	菅野 節子	20. 8. 2～22. 8. 1	"	管 泰二	"
"	菊地 守	20. 8. 2～21. 5. 18	"	桜井 善彰	"

■平成22年度～24年度

職名	氏名	在任期間	職名	氏名	在任期間
会長	藤井 孝	22. 8. 9～24. 8. 8	評議員	菅野 節子	22. 8. 2～24. 8. 1
副会長	斎藤 正信	22. 8. 9～24. 8. 8	"	宇田川 保男	22. 8. 2～23. 5. 16
" 入村 一夫	22. 8. 9～23. 1. 25	"	西山 正彦	"	
" 石塚 美智子	23. 3. 4～24. 8. 8	"	石塚 美智子	22. 8. 2～23. 1. 24	
常務理事	木村 俊雄	22. 8. 9～23. 6. 6	"	入澤 司郎	"
" 秋澤 憲治	23. 9. 1～24. 8. 8	"	舛水 勝壽	"	
理事	右城 栄一	22. 8. 9～24. 8. 8	"	能條 弘子	"
" 三留 寿一	22. 8. 9～23. 5. 16	"	池田 豊松	"	
" 藤井 喜代治	22. 8. 9～23. 1. 25	"	佐藤 さなえ	22. 8. 2～24. 8. 1	
" 鈴木 修	22. 8. 9～24. 8. 8	"	石澤 瞳	"	
" 福本 規矩雄	"	"	菅 泰二	"	
" 飛弾 恭子	"	"	村田 八千雄	"	
" 稲垣 武子	"	"	村松 正喜	"	
" 杉崎 隆之	22. 8. 9～23. 5. 16	"	桜井 善彰	22. 8. 2～23. 5. 16	
" 熊澤 茂	22. 8. 9～24. 8. 8	"	石塚 義則	22. 8. 2～24. 8. 1	
" 石塚 美智子	23. 1. 26～23. 3. 3	"	相原 善久	22. 8. 2～24. 5. 21	
" 舛水 勝壽	23. 1. 26～24. 8. 8	"	菊池 武雄	22. 8. 2～24. 8. 1	
" 高橋 伸隆	23. 5. 17～24. 8. 8	"	新木 重光	"	
" 斎藤 恒雄	"	"	村田 ふ志子	"	
顧問	山上 貞夫	22. 8. 9～23. 9. 10	"	小島 研二	"
" 木村 俊雄	23. 9. 11～24. 8. 8	"	中嶋 克明	23. 1. 25～24. 8. 1	
" 木村 勇	22. 8. 9～24. 8. 8	"	秋山 日出子	"	
参与	木内 正幸	"	"	梅澤 久美子	"
監事	古尾谷 久枝	22. 8. 9～23. 1. 25	"	山本 加代子	"
" 吉田 政明	22. 8. 9～24. 8. 8	"	"	岡本 よしの	"
" 青木 澄雄	23. 1. 26～24. 8. 8	"	"	江積 幸博	23. 5. 17～24. 8. 1
評議員	大川 壽一	22. 8. 2～23. 5. 16	"	大矢 直晃	23. 5. 17～24. 5. 21
" 竹田 智一	22. 8. 2～24. 8. 1	"	"	酒井 健	"
" 平野 倍男	22. 8. 2～23. 5. 16	"	"	菊地 彰良	23. 5. 17～24. 8. 1
" 森川 美知子	22. 8. 2～24. 8. 1	"	"	菊地 義幸	"
" 日尾 政喜	"	"	"	千野 修二	24. 5. 22～24. 8. 1
" 伊藤 孝雄	"	"	"	田代 雅弘	"
" 奥津 肇	"	"	"	鈴木 一實	"

■平成24年度～26年度

職名	氏名	在任期間	職名	氏名	在任期間
会長	藤井 孝	24. 8. 9～26. 8. 8	評議員	奥津 肇	24. 8. 2～26. 8. 1
副会長	齊藤 正信	24. 8. 9～25. 5. 19	"	菅野 節子	"
"	右城 栄一	25. 5. 20～26. 8. 8	"	田代 雅弘	24. 8. 2～25. 5. 19
"	石塚 美智子	24. 8. 9～25. 12. 4	"	菊地 彰良	24. 8. 2～26. 8. 1
"	青木 澄雄	26. 3. 19～26. 8. 8	"	中嶋 克明	24. 8. 2～25. 12. 4
常務理事	秋澤 憲治	24. 8. 9～25. 3. 31	"	秋山 日出子	"
"	富岡 登	25. 4. 1～26. 8. 8	"	梅澤 久美子	24. 8. 2～26. 8. 1
理事	齊藤 正信	25. 5. 20～26. 8. 8	"	山本 加代子	24. 8. 2～25. 12. 4
"	右城 栄一	24. 8. 9～25. 5. 19	"	岡本 よしの	24. 8. 2～26. 8. 1
"	高橋 伸隆	24. 8. 9～26. 8. 8	"	中島 光子	"
"	舛水 勝壽	24. 8. 9～25. 3. 24	"	池田 征夫	"
"	鈴木 修	24. 8. 9～26. 8. 8	"	菅管 泰二	"
"	東海 佐和子	"	"	栗田 隆	"
"	飛弾 恒子	"	"	稻垣 武子	"
"	島村 繁	"	"	菊地 義幸	"
"	斎藤 恒雄	24. 8. 9～25. 3. 24	"	石塚 義則	24. 8. 2～24. 12. 5
"	熊澤 茂	24. 8. 9～26. 8. 8	"	三澤 京子	24. 8. 2～26. 8. 1
"	金子 明	25. 3. 25～25. 12. 19	"	岸本 優	"
"	太田 真奈美	25. 3. 25～26. 8. 8	"	山本 哲	"
"	青木 澄雄	25. 12. 20～26. 3. 18	"	小島 研二	24. 8. 2～26. 5. 20
"	小西 悅子	25. 12. 20～26. 8. 8	"	小山 晋	24. 12. 6～26. 8. 1
顧問	木村 俊雄	24. 8. 9～26. 8. 8	"	天尾 隆子	24. 8. 9～26. 8. 1
"	木村 勇	"	"	坂本 洋子	25. 5. 20～26. 5. 20
参与	木内 正幸	24. 8. 9～25. 3. 31	"	星野 隆義	"
"	佐野 隆夫	25. 4. 1～26. 8. 8	"	柏木 厚子	25. 12. 5～26. 8. 1
監事	青木 澄雄	24. 8. 9～25. 12. 19	"	石塚 美智子	25. 12. 5～26. 8. 1
"	吉田 政明	24. 8. 9～26. 8. 8	"	前田 久子	"
	瀬川 英雄	25. 12. 20～26. 8. 8	"	古谷 豊	26. 5. 21～26. 8. 1
評議員	江積 幸博	24. 8. 2～26. 5. 20	"	横山 肇	"
"	竹田 智一	24. 8. 2～26. 8. 1	"	二ノ宮 雅一	"
"	千野 修二	"	"	太田 ユリ子	"
"	森川 美知子	24. 8. 2～25. 5. 19	"	茂木 卓治	"
"	日尾 政喜	24. 8. 2～26. 5. 20	"	藤澤 紀子	"
"	伊藤 孝雄	"			

■平成26年度～28年度

職名	氏名	在任期間	職名	氏名	在任期間
会長	高橋伸隆	26. 8. 9～28. 8. 8	評議員	竹田智一	26. 8. 2～28. 8. 1
副会長	右城栄一	//	//	奥津肇	//
//	青木澄雄	//	//	菊地彰良	//
常務理事	富岡登	//	//	菅野節子	//
理事	齊藤正信	//	//	茂木卓治	//
//	熊澤茂	//	//	柏木厚子	//
//	小西悦子	//	//	石塚美智子	//
//	石腰隆	//	//	梅澤久美子	//
//	伊藤久美子	//	//	前田久子	//
//	飛弾恭子	//	//	岡本よしの	//
//	小泉光子	//	//	岡本政江	//
//	太田真奈美	//	//	山本西絵菜	//
//	杉崎秀男	//	//	中間鐵郎	//
監事	瀬川英雄	//	//	栗田隆	//
//	吉田政明	//	//	藤澤チヨ子	//
顧問	木村俊雄	//	//	菊地義幸	//
//	藤井孝	//	//	小山晋	//
参与	佐野隆夫	//	//	日吉潤子	//
評議員	古谷豊	26. 8. 2～28. 8. 1	//	高橋忠常	//
//	横山肇	//	//	笹原良久	26. 8. 11～28. 8. 1
//	千野修二	//	//	山本博司	26. 8. 2～28. 8. 1
//	二ノ宮雅一	//	//	藤澤紀子	//
//	太田ユリ子	//			

法人設立30周年記念受賞者

順不同・敬称略

◇ボランティア功労者

寒川町社会福祉協議会個人登録ボランティアとして、20年以上に亘りボランティア活動を通して地域福祉の向上に貢献された

熊澤 純恵

樋口 けい子

鈴木 みさ子

◇多額寄託者

地域福祉のために多額の金員を寄附された

河西工業福祉協議会

国際ソロプチミスト寒川

◇賛助会員功労者

賛助会員として寒川町社会福祉協議会の発展に寄与された

宇田川 良一

藤沢 賢一

河西工業株式会社

さがみ農業協同組合

宗教法人寒川神社

有限会社寒川製材所

寒川ロータリークラブ

株式会社サンエーサンクス

ダイドービバレッジサービス株式会社藤沢営業所

日産工機株式会社

編集後記

「寒川町社会福祉協議会法人設立30周年」の記念事業を推進するに当たり、当該事業推進委員会が結成され、平成25年8月22日スタートとなる第一回目の会議が開かれました。

その時点の事務局提案は、従来の福祉大会の流れを継承した規模・内容・予算でしたが、法人設立30周年は、今日まで当協議会の運営に尽力された大勢の方々にとっても特別な記念事業であり、その思いを大切にすると同時に今後の当協議会の在るべき方向性を多くの町民の皆様に広くお伝えし、ご理解頂くまたとないチャンスと考え、推進委員会の総意として、記念誌の発行も当初計画の3倍となる1,200部に拡大、会場も町民センター大ホールへ、表彰・感謝の充実も図り、アトラクションとしてのチャリティーコンサートに世界で活躍するテノール歌手を招く等、法人設立30周年事業に相応しい内容になりました。

こうした大規模な事業が実現出来た背景には、9名の推進委員各位の当該事業を絶対成功させたいという情熱と協賛廣告募集に注がれた熱意、そして何よりご協力下さった80社を超える企業各位の温かいご理解とご支援に改めて心から厚く御礼申し上げます。

この機会に粗紙ご高覧を賜り、法人設立40年、50年に向かって歩み続ける町社会福祉協議会への忌憚なき叱咤、ご提案、ご助言を頂戴できれば幸甚に存じます。

平成26年10月

法人設立30周年記念事業推進委員会

委員長 右城 栄一

法人設立30周年記念事業推進委員会

氏名	理事部会	選出団体
右城 栄一	総務部会	寒川町自治会長連絡協議会
青木 澄雄	総務部会(H26.1~)	寒川町民生委員児童委員協議会
富岡 登	常務理事	学識経験者選考委員会
飛弾 恒子	地域福祉部会	寒川町ボランティア連絡協議会
小西 悅子	生活支援部会(H26.1~)	寒川町民生委員児童委員協議会
高橋 伸隆	総務部会	学識経験者選考委員会
熊澤 茂	地域福祉部会	寒川町自治会長連絡協議会
石塚 美智子	総務部会(H25.8~H25.12)	寒川町民生委員児童委員協議会
金子 明	生活支援部会(H25.8~H25.12)	寒川町民生委員児童委員協議会

電気を守って30年

電気の安定供給をめざして！

○赤池産業株式会社

TEL 0467-74-2244 FAX 0467-74-4274
〒235-0111 高座郡寒川町一之宮8-21-16

Q なんで
「アズビル」って
名前か知ってる？



A それはね、「オートメーション技術を通じて価値を創造する」という意味が込められているんだよ。

automation·Zone·builder

この言葉には、人を中心としたオートメーションで人々の「安心・快適・達成感」を実現するとともに、「地球環境に貢献します」という思いが込められています。



執筆者:山口武蔵

azbil

人を中心としたオートメーション

azbilのグループ理念「人を中心としたオートメーション」のもと、人々の「安全」「快適」「達成感」の実現、「地球環境への貢献」の4つの価値を、「ビルディングオートメーション」「アドバンスオートメーション」「ライフオートメーション」の3つの事業を通じて提供しています。そんなazbilグループの事業や提供価値をかるたで表現しました。

かるたで
アズビルのいろはを紹介
ぜひご覧ください

アズビルかるた

検索

アズビル株式会社 湘南工場

〒253-0113 神奈川県寒川町大曲四丁目1番1号
TEL.0467-74-2111



本尊 大日如来
(寒川町文化財)



安楽寺 (寒川町岡田2387)
※境内拝観自由



大神塚古墳 (境内裏山)
(寒川町文化財)



第10回／2013年
**モノづくり
部品大賞**
環境関連部品賞
受賞製品
遮熱ヘッドライニング
(天井用内装部品)

日刊工業新聞社主催の2013年「モノづくり部品大賞」を当社製品が受賞いたしました。
これからも地球環境にやさしい製品開発を積極的に取り組んでまいります。

カーインテリアの 新しい価値を創造

自動車内装部品のグローバルサプライヤー

KASAI

河西工業株式会社

〒253-0106
神奈川県高座郡寒川町宮山3316
TEL.0467-75-1125
(人事総務部直通)
<http://www.kasai.co.jp/>



仏事の総合コンサルタント
話して安心・聞いて納得・ご葬儀相談
24時間安心対応
葬祭ディレクターの資格を持つ、
専門知識を身につけたスタッフが
皆様のご相談にお答え致します。

年中無休・24時間受付
☎0467-73-4444
コスモスの会入会受付中

安心の会員システム
コスモスの会
ご入会金のみで、各種割引を受けられます。
¥10,000(税込)



医療法人社団
朋友会

けやきの森病院

神奈川

精神科・心療内科・内科

緑豊かな環境の中 ストレスケアの専門スタッフが対応します

院長 堤 康彦

心身は別々のものではなく、一人ひとりの存在そのものです。
当院は心の癒しを必要としている方々の為の病院です。

【診療時間】月～土9:00～12:00 【休診日】日曜・祝祭日
〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山3505
TEL.0467-74-5331 <http://www.keyakinomori.jp/>



有限会社 寒川製材所

代表取締役 木 村 勇

神奈川県高座郡寒川町一之宮一丁目8番2号

TEL. 75-0109

月よりも帰りたい場所。



特別養護老人ホーム・ショート
デイ・ヘルパー・ケアマネ 

寒川ホーム

高座郡寒川町小谷1-13-5

☎ 0467-75-0785

samukawahome.com

祝 寒川町社会福祉協議会法人化30周年

寒川町福祉団体協議会

肢体不自由児者父母の会 聴覚障害者協会

視覚障害者福祉協会 手をつなぐ育成会

寒川町の福祉の向上を目指して活動しています

連絡先 74-7621 寒川町宮山401

都市環境トータルサービス

- 建物総合管理事業
- 集合設備管理事業
- 建設・住宅関連事業
- 保安警備事業
- 集合店舗委託管理事業
- 人材派遣業・アウトソーシング
- 太陽光発電・環境事業
- 運送事業
- 各種保険事業

株式会社サンエーサンクス
V253-0112 寒川町中瀬5-12 TEL 0467-75-6299
0467-75-2111㈹

いろいろな力が
びつしり詰まつた
会社です

祝

寒川町社会福祉協議会
法人設立30周年



土地・建物・売買・仲介

《売る時・買う時・お気軽にどうぞ!!》

幸せり 造り (有)三洋ハウジング

☎74-6155(代)

〒253-0112 寒川町中瀬5-12 (NTT東側通り)

Noah home ホーム
設計・施工・不動産・耐震診断
新緑谷建設

いいやけんせつ

検索

住む人に優しい家



寒川車検センター

車検・一般整備・車両販売・钣金塗装・各種保険

関東運輸支局指定工場

下里自動車

検索

0467-75-0695

寒川町中瀬20-23

景観寺前

景観寺

ココ

交差点近く



QRコードをクリック
ドメイン指定受信を
解除して下さい。



法人設立30周年 おめでとうございます

SHONAN
湘南しんきん

寒川支店

75-3311

社会福祉法人
設立30周年
おめでとう
ございます

寒川地区 パーラーGT・ニュースター・クリエ倉見店
【7店舗】パーサージュ寒川店・MONOS寒川
ジャパンニューアルファ倉見店・スリーピース寒川店

茅ヶ崎地区 ガオウ・MONOS茅ヶ崎・ワルキューレ茅ヶ崎店
【7店舗】マルハニチロ茅ヶ崎店・GAUDI湘南茅ヶ崎
GAUDI湘南茅ヶ崎スロット館・ヒメカン茅ヶ崎東



神遊協
KANA-YUKYO

茅ヶ崎・寒川遊技場組合
【14店舗】

よりクリーンな空間をお届けします

お客様のニーズに
適正価格でお応えします!



見積無料
アフターサービス万全

●トータルビルメンテナンス●
〒株式会社トヨーテクノ

神奈川県茅ヶ崎市香川2-20-14
TEL 0467-53-4895(代)
FAX 0467-53-1370

新築・リフォームから手すり1本まで
住宅のことなら何でも
お任せください。



一級建築士事務所



有限会社 中村工務店

〒253-0113 寒川町大曲2-4-27
TEL 0467-75-1169 FAX 0467-74-6136
<http://www.nakanaka.jp>

祝 寒川町社会福祉協議会 30周年



日産工機株式会社

〒253-0105 寒川町岡田六丁目6番1号
TEL. 0467-75-1711



日本の伝統を修めるからこそ生まれる美観。

庭
匠
霧
島

庭
匠
霧
島



のぞみ
デイサービス
ジュニア

放課後等ディサービス
OPEN

現地見学会は随時受付中!!

広告



パート・アルバイト随時募集中

■利用可能日／月曜日～土曜日	■休日／日曜日
■営業時間／月～金曜日 12:30～17:00	
土曜・祝日 10:00～15:00	
■サービス提供時間／月～金曜日 13:00～17:00	
土曜・祝日 10:00～15:00	
春夏季休み 10:00～15:00	

送迎あり

運営／有限会社のぞみコーポレーション
〒253-0111 神奈川県高座郡寒川町一之宮9-28-21
TEL 0467(72)0250 FAX 0467(40)6667 担当／永井



店先は四季折々の草花がいっぱいです、それを楽しみに来る人もいるくらいです。薪窯で焼くイタリアンピザは生地がパリッ!チーズがトロリ。季節ごとのお勧めも充実。日替わりのイタリア料理や前菜、パスタも豊富で毎回新しい味に出会えます。

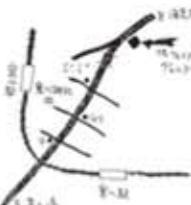
運がよければ フライングピザも見られるかも!

ランチ(平日月～金)は¥760から、オプション色々で楽しめます。

ピザのお持ち帰りも出来ます お気軽にお立ち寄りください

PIZZERIA
VERDE

ピツツエリア ヴエルデ
神奈川県高座郡寒川町宮山3460-3
TEL:0467-73-4101
11:00am⇒10:00pm (LO:9:00pm)
定休日:水曜日
<http://ameblo.jp/pizzeria-verde/>





サービス付き高齢者向け住宅・高齢者住宅
ウェルライフシリーズ

ウェルライフヴィラ湘南ちがさき

入居時費用:182,230円

月額費用:174,340円~

(食費込み)

全室 54室

全個室・トイレ洗面付き

★24時間介護スタッフが常駐しております★



ウェルライフガーデン寒川

入居時費用:144,500円

月額費用:137,810円~

(食費込み)

全室 46室

全個室

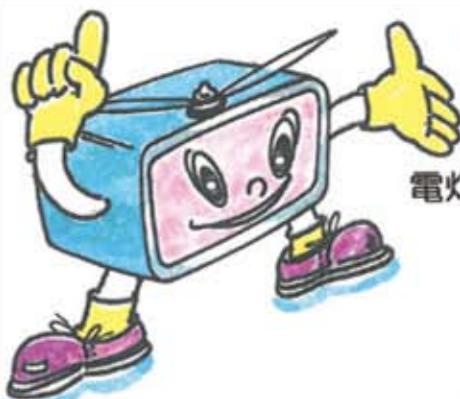
入居者
募集中

ウェルライフヴィラ
寒川いちのみや(仮称)
オープン予定!
H27年4月1日

「ウェルライフガーデン海老名」「ウェルライフヴィラ海老名こまち」もございます。お気軽にお問い合わせください。

管理・運営:株式会社 富士建設 福祉事業部

入居相談窓口・お問い合わせ ☎0120-88-7213 担当:片岡



でんきのことなら…

家庭電化製品・空調機 販売／設置／修理
電灯・動力・高圧電気設備・防犯システム 設計／施工

東京電力(株)業務請負工事店

(有)マルキ電機

寒川町一之宮 9-24-16

TEL 0467(75)2771

おかげさまで36年 今後ともよろしく…

注文分譲住宅・土地・貸家・アパート

地元業者



信義誠実 村田商事(株)

村田建設工業(株)

不動産のことならなんでもご相談下さい ☎74-1222(代)
一之宮1-8-13(ユータカラヤ前) ☎75-0555 建設



ユシログループ海外12拠点を支える
研究開発拠点であるテクニカルセンター

人と地球にやさしい金属加工油剤
フロアーケミカル製品を開発し
環境調和型社会の実現を目指します。



ユシロ化学工業株式会社

YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD

〒253-0193 神奈川県高座郡寒川町田端1580

TEL 0467-75-0175 FAX 0467-75-0157

<http://www.yushiro.co.jp>



Bank of Yokohama

Afresh あなたに、あたらしく。

お客さま一人ひとりに、
最もふさわしい金融サービスとの出会いを、
あたらしく創りあげていきます。

横浜銀行 寒川支店

〒253-0105 神奈川県高座郡寒川町岡田1169-1

TEL:0467-74-7111



段ボール用高精細アートフレックス印刷機

Artflex F1300



1%アミ点から再現可能な
レーザー彫刻版と
印刷スレがなく
直接段ボールにフルカラー
表現できます。

“特許取得済み”

“容器包装3R
大臣賞受賞”

* 株式会社 アート

関東工場 ☎ 253-0101 神奈川県高座郡寒川町倉見1137番地
TEL (0467) 74-7506(代) FAX (0467) 74-7526
本社 / ☎ 572-0072 大阪府寝屋川市太閤東町23番12号
関西工場 TEL (072) 833-4008(代) FAX (072) 833-8200
<http://www.art-flexo.jp/>

お客様の想いを叶える



ワンストップで全部揃う!

販促応援パック
登場! 名刺・封筒・パンフレット
チラシ・ポスター・看板

印刷・ホームページ・広告全般

株式会社 アクロス

TEL. 0463-36-7778
<http://www.dp-across.co.jp>



一般建築用木材・新建材・ベニヤ板・
内外銘木・注文挽立材



有限公司 飯田木材店

神奈川県高座郡寒川町小動5番地
電話 寒川 (0467) 75-0620番
FAX 寒川 (0467) 75-1610番

住まいに関するることは気兼ねなく
ご相談ください。

オフィスを変えよう

文具・事務用品

アイエフ

“ゴム印 承ります 雑貨もおもしろいよ”

神奈川県高座郡寒川町小谷4-7-24

代表 締 貫 義 人

Tel 0467-74-5566

Fax 0467-74-1230

(株)アジア運輸 湘南物流センター



〒253-0103

高座郡寒川町
小谷2-1-17

TEL. 0467-55-8360

FAX. 0467-55-8361



行動 Action

サービス Service

技術革新 Innovation

同時に… At the same time

NTT東日本

電話

インターネット

テレビ

情報機器

各種ネットワーク

に関するご相談は

皆様のビジネスに役立つパートナー

NTT東日本-南関東

神奈川西支店

0120-228955

午前9時～午後5時(土日・祝日・年末年始除く)

藤沢市朝日町1-6

K14-1849【1411-1411】



いつものお茶の時間が、
もっと美味しい、
もっと楽しく……
毎日のお茶から、
おもてなしのお茶まで、
美しいお茶のひと時を
ご提案いたします。



お茶のまるしげ 寒川町岡田1023 0467-74-0088
<http://blog.goo.ne.jp/samukawamarushige> 日曜定休

新世紀のまちづくりに貢献します！



駐車場・外構工事
造園・開発工事など
受け承ります。

ご相談ください！

茂 株式会社 金子建材土木

神奈川県高座郡寒川町宮山 350 番地の 3
TEL: 0467-74-2447 FAX: 0467-74-0480



お庭のリフォーム

★駐車場の増設工事

ブロック・フェンス・カーポート

★フェンス・門扉新設改修工事

土間スタンブコンクリート

各種設計施工



株式会社 菊地土建

〒253-0104
神奈川県高座郡寒川町大歳 884
TEL : 0467-75-0801
FAX: 0467-75-0497

<http://www.kikuchi-doken.co.jp/>

社会福祉法人 千寿会

特別養護老人ホーム

きくの郷

ショートステイ
デイサービス
居宅介護支援センター

小動622(小動神社そば)

75-0964
FAX 72-5354



学校法人磯川学園 倉見幼稚園

神奈川県高座郡寒川町倉見2299

0467-75-6689

祝 社会福祉協議会法人化30周年

お引越し・遺品整理などゴミのことは
何でもお任せ下さい



有限会社 寒川公衆衛生社

代表取締役 高波 信幸



寒川町一之宮4-11-32
TEL 0467-75-0070
FAX 0467-75-4742
URL <http://www.s-k-e.jp>

八方除

相模國一之宮
寒川神社
高座郡寒川町宮山3916 TEL0467(75)0004

宗教法人 寒川神社

寒川病院

- | | |
|---------|--------------|
| ▶ 内科 | ▶ 神経内科 |
| ▶ 消化器内科 | ▶ 呼吸器内科 |
| ▶ 糖尿病内科 | ▶ 循環器内科 |
| ▶ 外科 | ▶ リウマチ科 |
| ▶ 消化器外科 | ▶ 脳神經外科 |
| ▶ 乳腺外科 | ▶ 皮膚科 |
| ▶ 整形外科 | ▶ 泌尿器科 |
| ▶ 眼科 | ▶ リハビリテーション科 |
| ▶ 耳鼻咽喉科 | |

人間ドック・検診で
健康チェックを!
総合健診センター
☎0467-75-6751

心あたたかく、
療養生活のお手伝いを…
**さむかわ訪問
看護ステーション**
24時間対応

☎0467-75-6680 <http://www.samukawabouin.com/>
寒川町宮山193
受付時間／8:30～11:30 13:30～16:30 休診日／日・祝・土曜午後

身近な健康広場

ボウリング
カラオケ
ビリヤード
レストラン



ボウリングはサービスデー・サービスタイム有り



寒川セントラルボウル
神奈川県高座郡寒川町岡田1047
TEL 0467-75-5311

祝 ☆社協法人30周年☆
民生委員児童委員は
あなたの相談相手です



福祉の町 実現へ

寒川町民生委員児童委員協議会
お問合せ 0467(74)1111

寒川やまと
御宴会、御会食
御法事等(6名～50名)
3,000円コース
より承ります



サービスランチ
好評販売中 寒川町岡田1023
0467-75-6035

Rotary 寒川ロータリークラブ

地域に密着した奉仕活動を目指しています

*関心のある方はご連絡ください

TEL 0467-73-0046 FAX 0467-74-0027
<http://www.t-samukawa.or.jp/~samukawa-rc21/>



H25年
寒川駅北口周辺
案内板を設置し
ました

祝 寒川町社会福祉協議会法人設立30周年



SANKO INC.
三幸株式会社

X
GRAND AREA

各種スポーツ教室開催
フットサル(大人向け、子供向け)ヨガ
ボクササイズ、健康体操、キッズダンス教室

～寒川総合体育馆～

指定管理者 三幸・グランデリア共同体

TEL:0467-75-1005

URL: <http://samukawa-tailkukan.jp/index.php>

結婚式会場への送迎 ゴルフ場への送迎
合宿・サークル・研修会場への送迎
見学視察などのバス 法要会場への送迎

団体、個人様の旅行も併せてご相談下さい。

大型バス 正座席 45

中型バス 正座席 25 又は 27

マイクロバス 正座席 16 又は 21



株式会社三昭ツーリスト

神奈川県知事登録旅行業第2-638号

〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山121-6

電話 : 0467-74-9900 FAX : 0467-74-9909

JXグループは、
エネルギー・資源・素材における
創造と革新を通じて、
継続可能な経済・社会の発展に貢献します。

エネルギー・資源・素材のX。
JX JX日鉱日石金属株式会社

〒253-0101 神奈川県高座郡寒川町倉見3番地
TEL.(0467)75-0611 FAX.(0467)74-6571

◆ホームページもご覧ください www.nmm.jx-group.co.jp

もっと、あなたに響くこと。 **J:COM**

J:COMチャンネル神奈川 デジタル11ch



横浜・湘南・横須賀の新鮮な地域情報を
生放送でお届け!

月曜日～金曜日 18:00～18:27 生放送

*J:COM対応済みの物件にお住まいの方は、無料でご覧いただけるチャンネルです。

J:COMカスタマーセンター AM9:00～PM9:00[年中無休]

0120-999-000

www.jcom.co.jp

※2014年5月末現在(一部除外)。※ご住所や建物によりご利用いただけない場合があります。※会社名・製品名・サービス名は、各社の登録商標または商標です。一部申請中のものを含みます。

 静岡中央銀行

寒川支店

TEL 0467-74-1510

清潔と安全を末永く

■ 寝具設備・病衣レンタル ■ 介護用品のレンタル・販売

■ユニフォームのリース・販売

 株式会社 柴橋商会

本社 横浜市神奈川区鶴屋町 2-11-5 SG ビル
TEL:045-312-3231

湘南工場 神奈川県高座郡寒川町田端 2042-3
TEL:0467-74-1861

<http://www.shibahashi.co.jp>



地域とともにまちづくり
株式会社 勝栄工業

住所 高座郡寒川町田端1180



電話 0467-74-3733

URL <http://www.shoei-ind.jp/>



[営業品目]

衛生・空調・電気・土木・建築・舗装

水道施設・消防施設 他

漏水修理・緊急漏水 対応

Let's enjoy! セカンドライフ

時を重ねた今だからこそ...
大切な家族やお友達と... お気に入りのスタイルで自由に...
自分らしく輝いている今のこしませんか?



※ 路線写真として二ヶ所を
撮影させていただけます。

寒川神社参道



田中写真

検索

0467-75-2450



俵屋
TAWARAYA

相模國一之宮

◆酒類販売

- ◆仕出し料理・お弁当・惣菜製造販売
- ◆高齢者給食サービス
- ◆冷凍惣菜全国宅配◆百貨店催事
- ◆お惣菜通販ショップ
<http://www.y-tawaraya.jp/>

俵屋

旬の季節料理と美酒の和食處
会席料理一品料理
和食の店
なごみ
(俵屋・通り) TEL 0467-74-4216

有限会社 俵屋

〒253-0111 神奈川県高座郡寒川町一之宮8-6-13
TEL 0467-75-0932 FAX 0467-75-6532
<http://members3.jcom.home.ne.jp/ta.wa.ra.ya/> (有限会社 俵屋で検索)



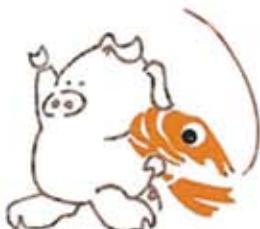
茅ヶ崎市・寒川町ガス事業協同組合

茅ヶ崎市赤羽根1358 TEL.0467-52-4003

組合員	(有)柿光商店	(有)永野商店
	(株)アオヤギ	西之宮商事(株)
	上野住設(株)	(株)富士ガス商会
	金庫屋商工(株)	(株)山上商店
	(有)永井商店	(株)サガミ
	(有)三橋商店	(有)香川プロパン
	脇商店	(株)金庫屋商店
	(株)木内	(株)鈴木正男商店
	(有)松永	河野商事(株)

専門店の味を、ご宴会、ご会食、ご家族連れて
水龍ポイントを集めて割引券と交換しよう!

どんかつ
水龍の
とんかつ



△74-1077
△74-4229

寒川全域配達
藤沢市一部配達
茅ヶ崎市一部配達

寒川駅前通り 0120-337102

美味 なとんかつ

医療法人博真会 永田外科

診療科目:外科・胃腸科・呼吸器科・肛門科・整形外科

理事長 永田澄夫 院長 永田真一

〒253-0101 高座郡寒川町倉見3793-3

TEL 0467-75-6075 ★倉見駅より徒歩1分

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	-	○	○	-
15:00~17:20	○	○	○	-	○	-	-

休診日/木曜日・日曜日・祝日

いつもあなたのとなりに 街のベストパートナー ひらつか



URL: <http://www.shinkin.co.jp/hiratuka/>

TRIbank Hiratsuka
平塚信用金庫

ミモザ寒川

有料老人ホーム・デイサービス・
特定施設入居者生活介護

安心

安全

快適

ご利用者様の笑顔のために
我が家のような安心を!!

☎72-0851

寒川町倉見365

おかげさまで 45周年



湘南の人材サービス/運送/請負/製造/菓子販売
村松商事株式会社

寒川町岡田978 ☎0467-75-2254
<http://www.muramatsushoji.com/>

Châteraisé 湘南さむかわ店



ご予約随時受付中!

3,000円以上のお買い上げで 無料配達!
寒川町岡田978 ☎0467-74-2022

神奈川の求人・転職・仕事情報・就職支援サイト



ジョブビレッジ | 検索

登録・相談無料!

最大10万円の
就職祝い金贈呈!

JOB-VILLAGE <http://www.job-village.jp/>
☎0120-225-400
藤沢市辻堂 2-2-6 辻堂秀英ビル 4階

おもいやりの心
お手伝いします 在宅介護の強い味方!

メディケアセンター



福祉用具
レンタル・販売

住宅改修

ケアプラン作成



株式会社 メディケア

■本社 ☎0466-23-2311

〒251-0052 藤沢市藤沢1027

月~土…午前8:30~午後5:30
祝…午前9:00~午後5:30
定休…日曜日

<http://www.mc-tehart.com>

横山外科胃腸科



院長 横山茂樹

診療時間 AM9:00~12:00 PM3:00~7:00

日曜・祝日も午前中診療 土曜日5:30まで 水曜日休診

診療科目:外科・胃腸科・皮フ科・肛門科・リハビリテーション科(各種保険取扱)

TEL.0467-74-7707



至駒河大橋

至茅ヶ崎



社会福祉法人 麗寿会

ひとを尊び 命を尊び 個を敬愛す
この理念のもとわたしたちは、
すべての人々のしあわせに
今、役立ちたいと願っています。



〒253-0081 茅ヶ崎市下寺尾 1928

TEL. 0467-54-9111

www.reijukai.or.jp

**RESTAURANT
idée**

フランス家庭料理 レストランイデ

〒253-0105 神奈川県高座郡寒川町岡田5-18-5
TEL/FAX: 0467-72-1154
<http://r-idee.jimdo.com>



こどもも親も安心して帰る

あべともこ こどもクリニック

TEL 0466-42-6785
FAX 0466-42-6786

〒252-0804 藤沢市湘南台3-7-12 湘南台クリニックビル2F
ホームページ <http://www.kaeru-clinic.jp/>

ALways Security OK

〒254-0035 平塚市宮の前1-6 大貴中央ビル
綜合警備保障株式会社湘南中央支店
TEL 0463-23-6261

株式会社 金庫屋商店

〒253-0114 高座郡寒川町田端 677
電話: 0467-75-0178 FAX: 0467-75-1535

さとう珠算教室

寒川町宮山500-53 TEL.0467-74-0947

寒川町遺族会

会長 栗田 隆

事務局 〒253-0106 寒川町宮山 401 番地
寒川町健康管理センター内
Tel.0467(74)7621

寒川町婦人会
女子力アップで輝こう!

寒川町倉見1787-2
平本正子 TEL.75-6490

寒川ライオンズクラブ
みんなで仲良く奉仕活動

会長 皆川 欽一

事務局 寒川町岡田124番地4 平ビル1階
TEL (74) 3327

株式会社さんこうどうは 地域密着応援企業**です**

商売のお悩み解決!

儲かるデザイン

創業129年の安心の品質と実績
お客様の“こだわり”に応えます!

0120-3510-13

ホームページがリニューアル! <http://www.sankodo.net>

社会福祉法人湘南広域社会福祉協会
養護老人ホーム湘風園

藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町が広域行政の一環として、地域に開かれた施設として設立し、運営している施設です。

寒川町大蔵800 TEL 75-4545



茅ヶ崎地区保護司会

犯罪や非行を防止し、
立ち直りを支える地域のチカラ
<社会を明るくする運動>

デュプロ株式会社

横浜市神奈川区神奈川2-8-8
第一川島ビル5階
TEL 045-440-5520
FAX 045-440-5521
<http://www.duplotky.co.jp/>

Duplo

総合印刷

お客様の想いをカタチに

株式会社トーカイ

〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤2021-18
TEL. 0466-87-7600 FAX. 0466-87-5134

<http://www.tokai-inc.co.jp/>

野村證券

NOMURA

それ、
野村にきいてみよう。

野村證券

平塚支店

平塚駅北口
パールロード入口そば

TEL:0463-21-2111(代)



綜合建設／不動産
株式会社 山上建設

〒253-0105
神奈川県高座郡寒川町岡田953-1
TEL.0467-74-2611 FAX.0467-75-6463
E-mail: ymkm@poem.ocn.ne.jp

●営業品目●

給排水衛生空調設備工事・水道施設工事・一般土木

SUGIZAKI
有限公司

杉崎設備工業

〒253-0103 神奈川県高座郡寒川町小谷1530
TEL 0467-74-1837 FAX 0467-74-1838

携帯電話 090-3338-8351
E-mail sugizaki@peach.ocn.ne.jp

社会福祉法人 翔の会
つくしの家



住所 寒川町岡田 610
電話 0467-75-3004
FAX 0467-75-3197

tok 東京応化工業株式会社

〒253-0114 高座郡寒川町田端1590
TEL. 0467-75-2151 <http://www.tok.co.jp/>

軽作業・手作り品の作製 承ります！
特定非営利活動法人ともだち

就労継続支援B型友達
地域活動支援センターF(エフ)

お問い合わせは 0467(75)0667まで

有限会社 フルキ精機

代表取締役 古木 崇子

〒253-0103
神奈川県高座郡寒川町小谷2丁目6番6号
電話(0467)75-2131番(代表) FAX(0467)75-5520

消防設備工事・防災機器販売
株式会社 ヤマト

〒247-0071 神奈川県鎌倉市玉縄5-3-31
TEL: 0467-46-6614



トヨタハートフルプラザ横浜

トヨタハートフルプラザ横浜は、マリンタワーそば ウエインズビル2階



専任のスタッフが、お客様の各種ご相談を承ります。

[おクルマ探し](#)

[カスタマイズ相談](#)

[公的補助のご案内](#)

常時10台以上の展示車をご用意。乗降操作も体験できます。
実際に見て触れて、お確かめください。

助手席リフトアップシート車

ポルテ (日タイプ)



車いす仕様車

ノア (タイプI・手動スロープ電動ウイング)



サイドリフトアップシート車

ヴォクシー (後席車)



地下駐車場からエレベーターがございます。
雨の日も濡れずに展示フロアへお越しいただけます。

●車いす用トイレも完備しています。

■お車でお越しの場合 首都高速道路 山下町・新山下・横浜公園各ランプ近く
●山下公園側の道路より地下駐車場へお入りください。

■電車でお越しの場合 みなとみらい線「元町・中華街駅」4番出口から徒歩1分

TEL. (045) 662-9691 FAX. (045) 662-9681

〒231-8530 横浜市中区山下町33 (営業時間 10:00~18:00 / 土曜・日曜・祝日もオープン)



横浜トヨペット トヨタカローラ神奈川 ネッツトヨタ神奈川

※展示車両につきまして、当該ご利用のおクルマがございましたら、事前にご連絡くださいますようお願いいたします。一部の展示車両は改良前のものがございます。ボディカラーとプレードは実際と異なる場合がございます。詳しくはスタッフにお問い合わせください。



寒川町社会福祉協議会法人設立30周年記念誌

つなぐ

平成26年11月1日発行

発行 社会福祉法人 寒川町社会福祉協議会

〒253-0106

神奈川県高座郡寒川町宮山401番地（健康管理センター内）

TEL. 0467-74-7621 FAX. 0467-74-5716

E-mail:shakyo@t-samukawa.or.jp